大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞　夕刊

十一月十九日

本紙一部五錢　一ヶ月壹圓
定價　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用）(3)二二二五　（營業局專用）(3)三二〇〇

發行人　河栗忠
編輯人　本　勇
印刷人　水鍵内之介

綏遠事件で親英米派暗躍

内蒙義軍の蹶起を日本側の使嗾と誣ゆ

我が外務當局嚴重監視

【東京國通】國民政府が今回の綏遠事件を目して日本の使嗾によるものなりと誣ゐ、わが方が

折角 誠意をもつて日支交渉の圓滿解決に努めつゝあるにも拘らずこれが打切りを策せんとしてゐるとの報につきわが外務當局では未だ川越大使よりの確報はないが

右の如き打切説が如何なる意圖に出發してゐるかは關知するところにあらざるも苟くも支那側がかくの如き不可解なる行動に出づる場合は交渉決裂の責は擧げて支那側が負ふべきものである、これによつて生ずべき事態は一切わが方が關知するところにあらず

との强硬方針をもつて國民政府の出方を注視してゐる、すなはち支那側の親英米ソ派とみられる孔祥熙、陳立夫、宋子文氏等の

一味 が今回綏遠事件の裏に日本ありと宣傳し、これを機會に張群氏等親日派を陥れ、南京交渉を斷絶せしめんとする暗躍があることは首肯し得るところであり、さらにまたこれを機會に言論通信機關を動員して全國的排日空氣を醸成し、傅作義氏等の義捐金募集に努めしめつゝある等の事實より察知すれば交渉打切説の擡頭は單なるジエスチユアのみともみられぬ、從つて南京政府が右の如き打切方針に出づるやも保し難い、しかもこれが鍵は一切太原において蔣介石氏と協議し、その意を受けて十八日南京に歸還せる高亞洲司長の手に握られてゐるものと察せられるがいづれにせよ決裂か否かの微妙なる

段階 に立つに至つたとなし川越、張群第八次會見を前にして支那側の策謀を嚴戒するとゝもに南京政府が牽强附會の方途により交渉決裂を策するとするもわが方は終始不動の公明なる態度をもつてこれに處するものとみられる

風雲急を告ぐるに至り支那側は今月初めより續々中央軍を進出せしめ山西軍ならびに傅作義軍と協力して活潑なる攻擊的軍備を急ぎつゝあるが南京軍界の消息によれば同方面に配置された支那側軍隊配備狀況概略左の如し

一、包頭　第七十師
一、歸綏　第七十三師及中央軍高射砲一ヶ中隊
一、綏遠山西省境豐鎭、大同間に山西軍の一部及び高射砲二ケ中隊
一、寧武　中央軍第二十五師及騎兵第百一旅
一、太原　山西軍第六十六師及中央軍第八十四、第八十九兩師の一部

なほこの外軍政部は戰車、高射砲等の新兵器は勿論のこと最近イタリーより購入した主として戰車攻擊に使用される新式火砲六百門を全部隊に配給した

平綏線一帶の邦人居住危險に瀕す

【北平十八日發國通】綏東事情緊迫とゝもに平綏線一帶の日本人居住は危險に瀕しつゝあるので近くこれが全部的引揚を行ふことゝなる模樣で、包頭、綏遠の邦人居住者は領事館内に若干が踏止つてゐるのみで、大同では領事館員も既に引あげを終つた

南京政府が近く對外的聲明

【上海十八日發國通】目下南京政府は中央通信社を通じて綏遠問題に關し大々的な逆宣傳を試みつゝあるが、更に對外的反響と關心を喚起する目的で近く同問題に關し聲明を發することゝなつた

は十七日平綏線上で綏遠軍に射擊され兩翼に彈痕を止め歸還した、支那側はさかんに激職なりと報道し内外の注目を集めてゐるが、目下兩軍とも戰鬪開始に至つてゐない模樣である、なほ關麟徵氏の中央軍第二十五師の一部は最近寧夏省定遠營に入り綏遠問題につき後方工作をなしつゝある

蔣介石氏訓示

【天津十九日發國通】蔣介石氏は十八日午前八時山西省政府に赴き政府委員に訓示をなし同十時三十分閻錫山氏とゝもに綏靖公署に赴き署員、各縣長等三千餘名に時局に對する演説をなし、午後一時五分隨員とゝもに三機に分乘し洛陽に歸還した

支那軍配備狀況

【上海十八日發國通】綏遠の

赤化に恐れて蒙政會加入增加

【天津十八日發國通】綏遠省東北部にある四子王部落旗は從來傅作義氏に懷柔され、蒙政會に加入してゐなかつたが最近赤化を恐れ蒙政會に入りに綏遠省政府の支配から離脱するに及び、蒙政會にいよいよその勢力を强化した

内蒙軍偵察機綏遠軍に射擊さる

【天津十八日發國通】當地に達した確報によれば、綏遠軍はさかんに挑戰的態度に出てゐるが、蒙政會所有の偵察機

陸海軍除隊兵の就職斡旋に努力

職業運動斡旋要綱近日公布

【東京國通】陸海軍では除隊兵の就職斡旋にはかねてから出來るだけの

努力 を拂ひ除隊兵中からは一名の失業者も出してはならぬとの大方針で内務省社會局と協力して來たが、兩三日中に職業運動斡旋要領を公布し各師團と聯絡萬遺漏なきを期することゝなつた、今度の要領公布によつて師團在鄕軍人職業補導部が道府縣當局を中心に密接な聯絡をとり、除隊兵の就職斡旋に努める事となつてゐるが、特に滿洲駐屯兵、臺灣等の遣外部隊については一層の努力を拂ふことになつてゐる

遣外部隊の除隊兵は在隊中勞苦は内地部隊に比べて數倍甚しいが討伐、警備等の激務で就職運動も全然行はれず就職率は三割乃至四割程度で今まで非常に憂へられてゐた、それを今度は滿洲では齊々哈爾、牡丹江、大連に職業補導支部を新設、從來の新京、奉天、哈爾濱の三個所と合して六個所とし

朝鮮 には龍山、羅南臺灣には臺北に各新設されることゝなつた、殊に滿洲出征部隊の除隊兵の就職には次のやうに優遇の方法を講ずることゝなつてゐる

一、今まで職業紹介所に就職申込をするには在隊間の成績證明書を要してゐたのを軍隊手帳の提示だけで事足ることゝし且他の求職者よりも優先權を賦與する

二、除隊後職業紹介所へ至るまでの旅費と求人先へ面會御目見得に行く旅費は實費支給をすることになつてゐる

蔣氏の指示を仰ぎ高宗武氏歸京

直に川越、須磨兩氏と會見

【南京十九日發國通】日支交渉の經過ならびに國民政府の對策を蔣介石氏に詳細報告するとゝもに蔣氏の最後的指示を仰いだ高宗武亞洲司長は十八日午前太原から飛行機で南京着、直ちに張群氏に一切を復命したが、午後四時官邸に川越大使を訪問、會見約一時間の後さらに須磨總領事を訪問、同樣會談の後午後六時半辭去した

許大使、外相訪問

支那側主張を反復説明

【東京國通】駐日支那大使許世英氏は十八日午後四時半外相官邸において有田外相と會見、許大使は十日の川越大使と張群外交部長との第七次會談において日支國交調査に關するわが方の意向を忌憚なく説明したつもりであるが右は極めて重要なるものであるから誤解のないやうに眞意を傳へよとの本國政府の訓令に接したとて張群外交部長が川越大使に説明したと同樣の内容をさらに詳細に補足して述べた、これに對し有田外相は南京政府の意のあるところは承知したとのみ答へ會談約二十分にして辭去した

宋哲元氏保定へ向ふ

【北平十八日發國通】南宮において十七日韓復榘氏と會見した宋哲元氏は十八日午前十時兩氏同道同地を出發して大名に向ひ視察をとげ、午後宋哲元氏は馮治安氏の河北省主席就任式に列席すべく保定に向つたが、夕刻に至るも保定着の報知來らず、或は途中豫定を變更したとも見られる、宋氏のこゝ數日間に亘る動靜は漸く注目を惹きつゝある

第五回全國統計主任會議

第五回全國統計主任會議第一日は十九日午前十時國務院總務廳會議室に於て開催、政府各部及全滿省市公署より三十數名の各主任者、統計處側向井統計處長、植田統制科長、近藤調査科長、井本統計官等出席、開會の辭に次で總務廳長の訓示及向井統計處長よりの訓示を終つて議事に入り統計處指示事項、各官署希望並提案事項を審議したが第二次臨時人口調査に關する留意事項は左の通りである

一、本調査に從事する省及縣旗公署職員に對しては既に之が訓練を了したるも各調査地域に於ては速かに調査員及參助員を召集し訓練を行ふこと

二、呈報書用紙は相當の余部を見込み送付せしも萬一不足を來すが如き場合には可及的速かに其の所要數量を要求せられ度

三、日本人關係の調査に付ては縣公署に於て當該地日本側機關及特別調査區域の調査及特別調査區域管轄機關と充分なる連絡を保ち圓滑なる調査の遂行を期する樣取計はれたし

四、調査の趣旨を一般に克く徹底せしめ流言ひ語を發生せしめざること

五、本調査は常住人口調査なるを以て現在人口調査と混同せざること

なほ從來統計處發表に係る數字と民政部發表に係る數字とに差異有り又滿鐵附屬地人口に關しても滿鐵側の發表と關東局の發表とに差異有り

佛内相自殺

心臟の弱い

【パリ十八日發國通】サラングロ佛内相は十八日リールの自宅において瓦斯自殺をとげた、サラングロ氏が突如として瓦斯自殺をとげたことは近來の政界異變として異常な衝擊を與へ殊に人民戰線内閣は社會黨出身の支柱を失ひ悄然たる有樣である、サラングロ内相の自殺原因は最近右黨陣營の同氏に對する人身攻擊が頓に激化したのを苦にした結果ではないかとみられ、畢竟左右兩翼抗爭の犧牲となつたものとみられてゐる

て、對外發表にその統一を必要としてゐる現況より統計關係の統一化が具體化されるものとみられる

滿洲里會議兩代表歸任

滿洲里會議中間報告のため來京中の烏爾金少將、額爾欽巴圖省長の兩代表は十八日午後五時卅分新京發列車で筒井外交部宣化司長、山岡關東軍參謀課務司長、關口蒙政部總務司長その他多數の見送りをうけ滿洲里へ向け歸任の途についた、なほ海拉爾特務機關長松崎中佐も同列車で歸任した

新任獨領事來京

奉天駐剳新任ドイツ領事キュールボン氏は十八日午後九時着列車で來京、ヤマトホテルに止宿したが二、三日滯在し外交部をはじめ政府各機關を歷訪新任挨拶を述べ、さらに植田大使をも訪問するはずである

李交通相熱河省鐵道視察

李交通部大臣は熱河省内新設鐵道ならびに營口、葫蘆島兩港視察のため平井出總務司長同伴、十八日午後三時四十分發列車で出發した

黑岩理事長東上

滿洲計器公司黑岩理事長は商工省及内地度量衡組合に對する新任挨拶を兼ねた懇談的事務打合せの爲十九日午前七時發「ひかり」で内地に向つたが、歸途東京を經て十二月十日頃歸着の豫定である

その日く

□

事あれば踊るもの、その名は「親英米派」と呼ばれるところの一群である

□

この暗躍跳舞團は、どんなサーヴイスをして客の歡心を買はうといふのか

□

それにしても事件の將來が注目される、發展の意味するところが大きいから

□

火災に示された人間の美、街路に拾はれた人情の薄、これは多期らしい明暗の對照

□

この都もさまざまの場面に變貌が見られる、凍る道を踏みしめる「時」の恐雪！

乳房ある悲み

（第二百二）

（續上演上紙）

中西伊之助　作
武久　畫

總選擧レビウ（八）

帝國黨候補の高山に大垣重雄の美しい若い夫人が應援演説をし、それがまた處女演説ではないやうに、すつかり手に入つてうまいものだといふ噂が全選擧區に傳はつた

Y市を中心にそれが大評判となつた。そして高山派は全縣の人氣を背負つて立つ有利な形勢となつた。

突如として花形役者を第一戰に押し出して、一氣に敵の膽を奪ひ、牢固として拔くべからざる陣列を布き、堂々と無人の野を行くが如き氣慨を示した策戰は、千軍萬馬の古强者、金田參謀長の方すてあつた。

だが國民派の新人鬪士、河野利春もさるもの、雄力文章の颯爽たる英姿は、辛辣骨を刺して敵の牙城に肉薄した彼の旗幟鮮明な野戰振りは、兒戲に類する婦人利用の策戰に反感を持つ選擧區の好感をかつた。そしてその生一本な言論戰に多くの同情が集まつた。高山派の形勢も決して樂觀を許さなかつた。

何と云つても無産派は振るはない、殊に青年に信望のある一宮が突如として引致されてまだかへつて來ない、大井がそれに代つたが土地の事情に通じないので全くの悪戰苦鬪である。

だが、最近、急に彼等は人氣を呼び起した。といふのは帝國派の高山のやうに、彼等にも若い美しい婦人辯士が演壇に立つといふことであつた

そしてその健氣な噂に依るとその若い美人は、意外にも絶對反對派の高山候補の妹とかいふことであつた。

それが大評判となつてゐる

日、Y市の公會堂では、無産派鬼怒川重藏の政見發表演説會が開かれた。

『日本婦人解放同盟會員、無産人民婦人部書記大垣萬里子――』

堂々と本名が出演者の名の中に並べられた。

大垣萬里子！その名を見た選擧民は、素晴らしく好奇の目を瞬つた。

そこでもこゝでも、Y市は勿論近在でもその評判で持ち切りであつた。そこは裏町の居酒屋だ。

『大垣萬里子つてのは、高山さんの妹ぢやねえぞ』

町や村からやつて來た人々取りまぜて七八人が、小肴で酒をのんでゐる。

『うむ俺アもさう思ふな、大垣つてから大垣重雄さんの奥さんぢやないな……奥さんは高山さんの演説會に出てゐるんだからな……』

『すると娘だべ？』

『さうだ、何んでも高山さんの妹とか奥さんとかいふんだからな？……俺アよく知らねえが何んでも大垣さんの娘が高山さんの奥さんになつてゐるといふことだぞ』

他の一人がいつた。

『君らあこの間の高山さんの演説會へ行かなかつたのか？……』

向ふの隅で、數本の空德利を並べてトロンとしてゐる古びたオーバーコートの鼻下に髯のある中年男が突然聲をかけた。

『俺ア村の百姓でな、町の演説會なんぞきいてゐる暇はねえだ』

『うむ、町へ來て酒のむ暇はあつてもな』

『ヘツヘ、へ、へ、酒は演説よりえゝだよ』

『それがいけねえんだ、お前達がさうだからいゝ政治が行はれねえんだぞ。――それアまあいゝとしてそこで今度無產黨で演説する若い美しい女だ、あれアお前、帝國派候補の高山法學博士の細君だ』

今曉國道局の出火に 邦人青年の活躍
猛火をくゞつて自動車を搬出
興安タクシーの兩運轉手君

十九日午前三時半頃、新京特別市[illegible]の國道局自動車庫から出火、[illegible]

鎭火 [illegible]

斷念 [illegible]

この奮闘振りを見聞した領警新發屯派出所警官は上司に報告、表彰を申請した（寫眞は曾根君下堀川君）

鐵北の火事

十九日午前三時十五分鐵道北[illegible]家橋滿人家屋から發火した消防隊の活動に依り同家屋一棟を燒失四時鎭火した、損害原因目下取調べ中である

中風の七十老 捨てられたか
娘は二十日前に姿を晦ます

十八日午後十時頃日本橋通露商バレー商會へ七十歳位の日本人がぼろぼろの着物一枚素足で口もきけなくなつて轉り込んだ露人の屆出に依り日本橋派出所から係官が出張者に通行保護してやつて居るが當人は中風を患ひこの寒さにはだしで不自由な身體を引づつて歩いたので凍傷にもかゝり殆ど滿足に口もきけないが入舟町三南滿興業藤重實の妻瀬戸ロッヤ子の實父であるとぎれぎれに云ふので前記入船町を調査したところ戸口簿にもあるが藤重は入船町の家賃不拂のまゝ二十日頃何れかへ轉居し姿を晦し老父も殆ど町の記憶もなく警察でも處置に困じて居るがいたいたしい老の身を見て係官一同同情に暮れて居る

軍犬購買日程

關東軍の軍用犬購買日程は▲十一月二十七日大連▲十一月二十九日新京▲十二月一日ハルビン▲同四日安東▲同九日奉天と決定したが購買官は本間一等獸醫、助手大西與三郎の兩氏で新京軍犬飼育者で賣却希望者は二十三日までに滿洲軍用犬協會新京支部へ申込まれたいと

霧氷

十九日の朝國都の氣温は零下十三度に降つたがこの酷寒に珍らしくも公園の杜と云はず電柱と云はず、美事な花が咲いて道行く人々を喜ばせた、この奇現象は地上に近く暖い氣流が勃發し上層の冷い氣流にぶつゝかり氷結した所謂霧氷であつて今朝の區域は新京を中心に哈爾濱迄この現象が見られた

白菊小學校 創立二周年記念音樂會

創立二周年を迎へた新京白菊尋常高等小學校では既報の通り二十日午前九時から記念式典同十時から記念音樂會を催すが式次及び音樂會プログラムは左の通りである

一、式次　敬禮、君ケ代合唱、勅語捧讀、奉答歌合唱、學校長式辭、保護者會長祝辭、兒童感謝文朗讀、校歌合唱、敬禮

二、音樂會プログラム

第一部

開會の辭

一　齊唱　村の鍛、屋治水車、四男、二　同　リンク一全、三　二部　故郷を離るゝ歌、高男、四　齊唱　兵隊さん、鷄さん、二年、五　同　奮公、冬景色、五男、六　二部　故鄕、齊唱　野外の音樂、六女、七　齊唱　アイウエ王樣、カチカチ山、二年、八　同　山彦、わたしたち、三全、九　二部　齊唱　虫の音、日本少女行進曲、五女、一〇　ハーモニカ、獨奏、荒城の月、高一、一一　踊　なんなの花三女、一二　滿語　桃太郎六男、一三　踊　雨降りお月さん、四女、一四　劇　雀のお宿、一年、

第二部

一　三部齊唱　ダンロの前　子供の踊、先生、二　齊唱　からくり、我が駒、四女、三　二部　流れ星、高一女四　齊唱　高あし踊、紅葉二年、五　二部　木枯、花、高二女、六　踊　證々寺の狸ばやし、二女、七　劇　花咲爺、三年、八　踊　黄金虫、足柄山、一年、九　同　人形のガボツト、四女　一〇　劇　マッチ賣りの少女、五年、一一　ハーモニカ、合奏、赤い翼、校歌　閉會の辭

出所間もなく 盜んで留置場入り

本籍福岡縣田川郡添田町大字庄一〇三六現在住所不定無職守井義人（二二）は窃盜罪に依り新京領事館刑務所に收容され前途春秋に富む青年と情をかけられて十七日放免された者であるがこの絶大の同情にも感ぜず出所間もなき十七日夜に東一條通りカフエーオリンピツクにて拾圓近くの無錢飲食をなし明日三百圓も手に入るからと豪語して逃走しその夜は道路上に置いてあつた道路修繕に用ゐるローラーの中にねむり十八日午前十時二十分頃に父の家特別市體樂路二佐藤氏方玄關先に立廻り折柄來宅中の父の知人高橋氏のオーバーを窃取して逃走したが佐藤氏からの屆出に依り新京署では早速手配し窃取せるオーバーを祝町二丁目某質店に入質して銀パレス前に來た處を成松刑事が逮捕したが盜難通知があつてから五分と云ふスピードさ刑務所から逮捕へと一夜も家の疊に寢ずまた留置された

喘ぐ中、小商店 更生の道を陳情
百貨店取締規則制定を要望

本年度に至り俄然國都に設立相次いだ百貨店は來年度から愈よ本格的近代商戰の火花を散らすことが豫想され、これに對する市内中、小商店には重大なる影響あるを免かれず商店協會ではかねてから寄々對策を練つてゐたが、十八日の役員會でほゞ具體案成り、三十年に亘る惡戰苦鬪の結果漸く今日を開拓した中小、商工業者の地盤を守れと言ふ悲壯なスローガンを揭げて、十九日中吉田副會長以下役員代表は商工會議所を訪問、會議所を通じて當局に善處方を要請することゝなつた、なほ商店協會側の要請は内地と同樣百貨店取締規則の制定、百貨店側の組合結成による自發的販賣方法の改善、百貨店建設敷地の制限等が擧げられてゐる

新入營兵奉告祭 來る二十二日
名譽の壯丁二百五十

本年度新京から入營する名譽の壯丁數は約二百五十名の多數に上つてゐるがこの名譽ある壯丁の奉告祭は二十二日午前十一時から新京神社社殿に於て嚴かに執行される、式は神職の修祓、開扉、獻饌、祝詞奏上があり神職、主催者、入營者總領、事代理、署長、聯合分會長、來賓代表の玉串奉奠、神守授與、神酒、神饌拜戴、主催者の挨拶があり記念撮影をなし解散の豫定であるが當日壯丁は洩れなく出席するよう希望されてゐる

廿二日競獵大會

十家堡驛、ビユーロー主催で來る二十二日（日曜）に競獵大會を催す新京驛からは二十一日午後十時四十分發列車で十家堡にゆき、かへりは二十二日午後六時四十五分着列車でかへる賞品は優勝カップの外に全參加員に賞品あり會費は一圓五十錢（當日持參のこと、晝食持參）申込みは驛、ビユーローへ二十一日午前中までに申込まれたいと

保稅倉庫座談會

商工會議所主催の保稅倉庫座談會は二十日午後一時から公會堂第一集會室で開催される

長春から―新京へ― 第二世物語り（完）

先驅者の榮譽を擔つて

さて所謂長春第二世を訪ねて街を彷徨すること旬日、三十年の昔からこの大陸の眞中に根を下ろしあらゆる困苦、苦難に打ち勝ち、王道樂土を迎へ、輝しき先驅者の榮譽を擔つてゐる人達の幾多の貴重なる談話を紹介したが、滿洲國が今日あるのは如何に必然なる現象とは言へ、彼等先覺者の踏み越して來た荊の途に對しては深く敬意を表さざるを得ない、父祖の努力によつて既に開拓の第一歩はひらかれ、牢固たる地盤は築かれてゐる第二世諸氏の前途は王道樂土の輝きとともに益々前途の多幸を象徴してゐる、然しながら日に月に躍進してやまない時代の新狀勢に應じて更に大なる飛躍發展を期するには第二世たるもの些かの油斷をも許されない、古き長春は今あらゆる舊套を脫して文字通り新京への生れ變る惱みに蠢動してゐるのだ、その間に處して伸びるも倒まるもそれは實に第二世たるものの覺悟一つにある重大な時機に際會してゐるわけだ、須く緊褌一番、父祖の遺業を恥づかしめざるは勿論、

王道滿洲國の前途は洋々 第二世諸氏の活躍に期待

新京の將來を擔ふ覺悟

をもつて夫々邁進されんことを希望してやまない、以上紹介した人達はほんの一部分にしか過ぎぬと思ふ、この外名古屋ホテル遠藤氏、廣本洋行小林履物店、竹島印刷所、濱木印刷所、泰利號則生氏、井上刀劍店、高田商行等の諸氏は旅行不在或は事故等のため遺憾ながら貴重なる體驗談を聞くを得ず又の機會に讓らざるを得なかつたことを附記し一先づ此の稿を総ることゝする

康德三年度 司法試驗筆記試驗問題

去る十四日より十七日まで四日間にわたり施行した本年度司法試驗筆記試驗問題は左の如くである

△組織法
一、參議府の組織法上の地位を論ず
二、命令の種類を擧げ、その規定し得べき事項の範圍および效力を述べよ

△民法
一、他人の名においてなす行爲が他人のために效力を生ずべき關係を論ぜよ
二、物上請求權の性質および效力を說明すべし

△商法
一、株式の讓渡について論ずべし
二、利得償還請求權について詳論すべし

△刑法
一、未遂犯を說明せよ
二、正當防衛と緊急避難との差異を說明せよ

△民事訴訟法
一、管轄の合意を論ずべし
二、確定判決の效力を論ずべし

△刑事訴訟法
一、左の各項につき說明せよ
1、檢察官一體の原則
2、告訴不可分の原則
二、裁判の確定力とは何ぞや

△選擇科目

△國際公法
一、國家の承認を論ずべし
二、滿洲國建國前滿洲において歐米諸國が有し居たる治外法權は滿洲國の建國に因り如何なる影響を受けたるやを說明すべし

△國際私法
一、權利能力の準據法を說明すべし
二、滿洲國に居住する者と滿洲國外に居住する者との間に締結したる契約の準據法を說明すべし

△經濟學
一、貨幣の職能を論じ進んで各種通貨制度を論評すべし
二、產業組合の機能を論ず

交通取締惡成績

近來非常に無燈火の車馬が多く事故も頻發するので十八日午後五時半より七時半迄新京署交通係總出で外勤の應援を仰ぎ市内一齊交通取締りを行つたが前代未聞の惡成績で違反總件數三百餘件、嚴重處罰されたもの百七十件と云ふ莫大な數を示して居るが違反者は店員、ボーイ約六割を占めて居りこれ等は店主其の他雇主に於て充分注意され度いと云つて居る、次は官廳會社土木建築業者の類であるが滿鮮人に比し内地人の違反者が多かつたことは係官を驚かして居る、交通道德旬間を契機として新京署も交通係を充實し一層嚴重に取締る事になつたが特に今迄ルーズに流れて居た荷馬車を徹底的に取締るから一般業者は充分注意され度いとの事である

日滿運送業組合 役員會開催

日滿運送業組合では來月一日から開設される保稅倉庫通關代辦人資格の許可に關し遺憾無きを期するため十八日午後六時公會堂にて役員會を開催滿洲國人業者との連絡打合せを行つた

三橋機械係主任

鐵道總局機械課に榮轉した滿鐵新京事務局機械係主任三橋健兒氏は二十日午前九時發はとで赴任する、なほ後任谷甚之助氏は十九日朝着任した

山田廣島 鐵道局長

山田廣島鐵道局長は十九日午前七時十分着列車で來京、國都各機關を視察し午後五時三十分のあじあで哈爾濱に向ひ二十日歸國する

渡邊機關士葬儀 に金澤氏列席

十六日某地で死去した滿洲航空會社新京管區渡邊機關士の葬儀は十九日午後二時から奉天滿洲航空會社で執行されたが新京からは金澤管區長代理が列席した

小野兵一氏の 營業取消

去る十四日國都を擧げての防空演習燈火管制中に警戒管制非常管制の際遺憾の點多かつた百灑街五百二十號昌進堂經營者小野兵一（三七）に對して所轄新京總領事館警察署では同經營者の行爲は公安を紊すものと認め十八日附をもつて撞球業飲食店營業許可取消の處分に附した

人事往來

（着京）

▲三溝又三氏（日滿商事）十八日來京ヤマトホテル
▲武田尾雄氏（滿鐵學務課長）同
▲本吉幸敏氏（商業）同
▲寺本慧達氏（布哇島教員）同
▲長島山松氏（滿鮮拓殖秘書）同
▲キユール・ボーン氏（駐奉獨領事）同
▲宇木甫氏（滿鐵）同
▲神代新市氏（滿鐵）同國都ホテル
▲原田觀一氏（同）同
▲高橋感夫氏（同）同
▲岩出文男氏（同）同
▲周培炳氏（ハルビン鐵路局長）同
▲西谷實一氏（石川島造船所）同
▲菅原朝吉氏（同）同
▲高田昌彥氏（吳服商）同
▲堀川康造氏（東亞土木企業）同
▲森喜代八氏（日本鋼管）同
▲增田直次氏（安宅商會）同
▲櫻井勇三氏（正隆重役）同
▲伊藤伊三氏（同行員）同
▲高田武夫氏（朝鮮總督府）同
▲坂口忠氏（滿鐵）同
▲小堀義氏（炭礦業）同
▲安波務雄氏（竹馬商店）同
▲仲野正男氏（同）同
▲澤田豐造氏（吳服商）同
▲落合修行氏（滿鐵）同
▲永樂都太郞氏（貿易商）同
▲佐川詰氏（同）同
▲八木沢涼雄氏（鐵道總局）
▲今村知光氏（木材商）同中央ホテル
▲土田兼清氏（同）同
▲神野悅三氏（會社員）同
▲村山武雄氏（官吏）同
▲丸山聖太郞氏（撫順セメント）同
▲栗本正彥氏（鐘紡）同
▲御園義友氏（請負業）同國際ホテル
▲森田敏氏（官吏）同
▲川村芳三郞氏（寫眞機商）同
▲中谷定治氏（官吏）同
▲中澤正治氏（ハルビン日本商工會議所）同
▲杉山武夫氏（滿鐵）同
▲小山睦雄氏（同）同
▲杉本文雄氏（同）同
▲大村鐵道總局長　午前七時十分大連より來京
▲滿鐵新入社員地方見學團一行二十名　午前八時四十二分吉林より來京
▲澤田一郞氏（滿洲パルプ）十九日來京ミヤコホテル
▲近藤民之助氏（同）同
▲村上準氏（同）同
▲佐竹勝三氏（陸軍中佐）同新京ホテル
▲吉田喜德氏（同）同
▲川畑豐治氏（滿鐵）同
▲常西新三氏（同）同
▲野口軍藏氏（同）同
▲菊地清兒氏（東洋煙草）同大和旅館
▲大久保正亟氏（長嶺縣公署）同常盤旅館
▲池田完氏（同）同
▲成松正雄氏（滿鐵）同
▲深澤忠氏（ハルビン市公署）同富士屋旅館
▲安食三郞氏（實業部）同
▲河内志郞氏（三江省公署總務廳長）同滿蒙旅館
▲有澤義松氏（濱江省公署）同
▲松本源太郞氏（特產商）十九日來京
▲尾高中將　同
▲山岡中將　同
▲清水中將　同
▲大串中將　同
▲笠井中將　同
▲石田中將　同
▲安藤中將　十九日來京
▲小林少將　同
▲篠塚少將　同

あす（二十日）

▲白菊小學校創立記念式、午前九時
▲八島小學校四年以下母の會
▲料理講習會A組、午前九時半、ガス營業所
▲煤煙防止委員會、午後二時大經路兩級小學校
▲カフエー演藝大會第三日、午後零時二十分、長春座

※…今晩の主なる演藝放送…※

▲七・〇〇一茶を偲びて（長野）上松康郞外大ぜい▲七・三五落語「影清」（東京）桂文樂▲七・五〇獨唱及合唱と管絃樂（東京）井崎嘉代子外▲九・〇〇小唄と常磐津（哈爾濱）小唄藤兵衛外

天氣と氣温

明日の天氣　西の風晴一時曇
日の出　前六時四十分
日の入　後四時一〇分
月の出　前十一時一二分
月の入　後九時二七分
けふの氣温　最高零下六度二　最低零下三度一

滿洲火保協會設立し 料率協定實行

―打合せの爲委員東上―

【東京國通】滿洲國內の火災保險界には現在料率の協定が全然なく、かくては今後の事業發展に大いに支障を來すことになるので本年五月以來滿洲國で營業する火災保險二十八社間に料率協定の機運が釀成し、滿洲火保協會を設立すべく考慮中であつたが、今回大體の腹案が出來いよいよ近く協會設立の運びとなつた、即ち現地業者の代表委員たる大連火災の支配人山內勝雄氏以下全委員は十九日着京親會社の代表たる大日本聯合火保協會と細目につき協議を行ふ事となつたが、右は關東州で昭和十年初めより結成された關東州火保協會が好成績をあげたのに鑑み、これを滿洲國にも移さんとするものであるが滿洲火保會社創設をめぐり內地業者間に意見對立の折柄該問題の成行は注目に値する

歸任途上の 中銀總裁談話

【東京國通】滿洲中央銀行田中總裁は十八日午後三時東京驛發歸任の途についたが、車中滿洲金融情勢ならびに過般來問題化せる滿洲中央銀行の國債決濟銀行加盟問題等に關し左の如く語つた

先般米、獨、オランダ等の中央銀行總裁から自分個人宛に國債決濟銀行加盟方を勸誘して來たが、これは全く非公式なもので滿洲中央銀行として正式に今どうかせねばならぬ問題ではなく簡單に決めるべき性質のものでもないが、今後滿洲國が發展するにつれて具體化する問題であらう

滿洲は目下特産出廻りから金融活況を呈し兌換券も現在一億七千萬圓程度に膨脹してゐるが、今後も漸增して行くものと思はれる

一般の景氣も極めてよいが一方これに對する金融機關も漸次整備されつゝあり、懸案の長期事業資金の融通も近く實現の運びとなり、全滿洲の金融機關も愈よ整備されることになつてゐるから金融關係についての心配はいらぬ、特に庶民金融に關しては萬全を期するつもりで、なほ將來證券ならびに金融市場の發達を滿洲金融界の發展のため特に必要と思はれるので、この點に力を盡し、兩市場の發達を期するつもりだ

土建ニュース

決定工事

▲盲啞學校々舍增築及寄宿舍增築工事 ●關東州廳土木課
落札 六千三百八十圓 間瀬組
[illegible] 辻組
[illegible] 今井組
[illegible] 名越組
[illegible] 星野組

▲周水子消費組合倉庫園棚新設工事 ●滿鐵大連鐵道事務所
特命 七十五圓六十錢 柿崎組

▲金州廿里台間三三K四七一米踏切道一部修繕工事 ●滿鐵大連保線區
落札 五百十五圓 草場組
[illegible] [illegible]組

▲大石橋啓明寮浴場用溫水罐取換工事 ●滿鐵大連工事事務所
豫特 一百九圓 橋本興三郎

▲中試沙研究所硏磨場材料購入試驗室增築追加工事

商況欄

（十一月十九日前場）

豫特 四百一圓四十七錢 村越三太

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	二一片八分一
同 先限	二一片八分一
紐育銀塊	四五仙二分一
孟買銀塊	五二留比六分三
米英爲替	四弗六六仙八分七
米日爲替	二八弗六〇仙
米支爲替	二九弗七五仙
スチール株	七五弗四分三
アナゴンダ株	五一弗二分一
英日爲替	一志二片三分一
英支爲替	一志二片八分五
印日爲替	七七留比二分一

▲米棉

限月	相場
現物	一二仙二〇
十二月限	一二仙七五
一月限	一一仙六五
三月限	一一仙六三
五月限	一一仙六一
七月限	一一仙五〇
十月限	一一仙一五

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二一六留比
オームラ	一九八留比
ベンゴール	一五九留比

▲市俄古小麥

限月	相場
十二月限	一弗一七仙二分一
五月限	一弗一五仙〇〇
七月限	一弗〇二仙二分一

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
青筋	一二留比二分一
錢筋	一九留比八分七

金銀市況

◎上海標金 本寄 二三五、六 歩 ‖

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向 第一回賣 一〇三、八七五 同買 一〇四、一二五
▲倫敦向 第一回賣 一志三片[illegible] 第二回 [illegible]
▲紐育向 第一回賣 二九弗[illegible] 第二回 [illegible]

▲大連爲替
▲上海向 一〇四、一二五
▲[illegible]向 [illegible]

▲阪神日米爲替
第一回賣 二八弗八分五 第一回買 [illegible]

▲阪神日英爲替
第一回 一志二片[illegible]

各地株式市況

▲東京株式（短期） 寄付 [illegible] 高値 [illegible]
▲大阪株式（短期） 寄 [illegible] 引 [illegible]
▲大連株式（短期） 寄 [illegible] 引 [illegible]
▲奉天株式（短期） 寄 [illegible] 引 [illegible]

各地商品市況

▲大阪棉糸 寄付 [illegible] 大引 [illegible]
▲大阪棉花 [illegible]
▲大阪人絹 [illegible]

各地特産市況

大連大豆 寄付 [illegible] 大引 [illegible]
豆粕 [illegible]
豆油 [illegible]

新京取引所市況

（十一月十九日前場）（一石値段）
現物 寄 引 出來高 [illegible]
大豆 高粱 小豆 玉蜀黍 [illegible]

十一月二十日 金曜 丙午 佛滅 危 牛宿
十月七日

●一白の人 事々物々故障の起り易き日無理の行動注意 丙と丁と寅が吉
●二黒の人 すらくと物事の運び行く日会談緣談皆吉 乙と巽と未が吉
●三碧の人 沈著に萬事を處すれば效果擧る急進は不利 丁と辛と壬が吉
●四綠の人 元氣旺盛に力一杯に勵むべし諸事達成の日 乙と丁と辛が吉
●五黄の人 計畫を改め新方面に開拓の道を講ずるに吉 甲と契と未が吉
●六白の人 寬氣揚らず鬱氣に閉ぢらるゝ日病危に注意 乙と未と辛が吉
●七赤の人 內外共に危險の迫る日諸事差控ゆるが安全 甲と乙と未か吉
●八白の人 輕卒を減しめ自重して進む時は大吉日なり 乙と巳と未が吉
●九紫の人 些細の事にも氣を配りて進むが吉移轉は凶 庚と壬と丑が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
定價 本紙一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇

紅格爾圖前面に於て 內蒙軍總攻擊を開始

支那軍全力を武川に集結

綏遠では學生軍編成

當地某機關に達したる情報によれば、さる十四日夜來紅格爾圖前面に內蒙軍進出せしが翌十五日午前に至るや飛行機による爆擊、砲兵の射擊開始とともにその步騎兵約二千數百名は同地の總攻擊を開始し目下激戰中である、然して同地の電話は內蒙軍の攻擊によつて破壞せられた

第三十五軍第二百十一旅（傅作義軍）はその全力を武川に集結するに決し、移動を開始した、なほ綏遠に於ては學生軍編成せられ、その兵力は武川に移動を開始せるものと合し約千三百餘名である、然しながら學生軍には目下兵器彈藥の準備はない

在綏遠の高射砲隊二團（四百名）高射砲五門は包頭に移動した

傅作義更に增兵

【北平十九日發國通】傅作義は目下平地泉に司令部を置き總指揮に當つてゐるが、十八日興和方面に向ひ增援を行つた、これよりみて前哨戰線は紅格爾圖より興和方面へ擴大したもの〻如くである

蒙藏委員會王公に 赤化の危險警告

【北平十九日發國通】德王を盟主として蹶起せる內蒙各軍は今回起義の目標たる

一、綏遠省主席傅作義が甘肅の共產軍と策謀して內蒙に侵入、內蒙を赤化攪亂せんとするを防止する

一、傅作義が武力をもつて奪取せる內蒙四旗を回復する

の二項をよく理解し固き信念の下に一致結束して目標の貫徹に邁進してゐるが德王は十二月初旬を期して百靈廟に反共產主義の旗幟の下に蒙古王道指導委員會を結成して傅作義庇護の下にある阿王を盟主とする蒙藏委員會の王公に對し赤化侵略の危機を說き今にして覺醒せずば人民は塗炭の苦に陷るべきを警告すること〻なつた

印紙收入、酒稅法 日本人に適用

外交部大臣は收入印紙關係法規および酒稅法改正關係法規を日本國民に適用する旨二十日左の通り佈告すること〻なつた

本大臣および當國駐劄大日本帝國特命全權大使は康德三年六月十日新京において署名せられたる滿洲國における日本國臣民の居住および滿洲國の課稅等に關する滿洲國日本國間條約附屬協定第二條および第四條の規定に基き左記法令を日本國臣民に對し適用すること但し該法令は南滿洲鐵道附屬地に施行せられざるべきことを協議決定せり

一、大同二年敎令第七十九號「收入印紙をもつてする歲入金納付に關する件」（康德三年勅令第百五十號をもつて改正）

二、康德元年院令第十號「大同二年敎令第七十九號施行に關する件」

三、康德元年財政部令第三十號「收入印紙をもつて納付せしむる財政部所管の手數料の種目指定に關する件」

四、康德元年財政部令第三十一號「收入印紙發售規則」

五、康德三年勅令第百四十九號「酒稅法中改正の件」

六、康德三年財政部令第三十四號「酒稅法施行規則中改正の件」

附屬地衛生組合會議 提案議題審議

きのふ滿鐵事務局で開催

新京附屬地衛生組合會議は十九日午後一時三十分から滿鐵事務局二階會議室で開催された

出席者新京署豬苗代署長、原口衛生係主任、滿鐵鯉沼參事、岸氷地方係長、羽生保健所主任、多田衛生隊長組合側小松聯合會長以下各委員等にて多田衛生隊長より滿鐵衛生隊の活動狀況について說明をなしついで岸氷地方係長より事務局提案の議題を逐條說明を加へいろ／＼討議の結果現在の衛生組合は一般市民に徹底してゐないため組合としての活動が非常にやり難い故に組合役員は制定したマークを附すること道路取締に關しては道路及空地に廢品に近き見苦しき物品又は建築用殘材料を放置するもの庭先に於て大工作業並に貨物荷造解梱をなすもの、道路使用許可以外の路面に建築材料等を亂雜に積載するもの、人道上に荷車又は自轉車を亂雜に放置するもの等を發見した場合は組合員は直ちに最寄警察官吏派出所に其の旨を通知し派出所に於て嚴重に取締りをなすこと、各戶の庭先步道は每日居住者が掃除すること（その方法としては各學校と相談の上小學校兒童をして自宅の掃除をさせることも一方法ならん）殘土は必ず白菊町プール附近の所定箇所に放棄すること等を嚴守させ警察と連絡の下に衛生上からも都市美からも國都の名に恥じざるやう努力すること〻し施設としては塵芥箱、便所、下水溝の不完全なるものは改善しこれが取締上專務警察官を配置することなどを決定した、一方警察署からは組合に對し希望條項として（イ）保健所の利用（ロ）清潔方法施行の際に於ける注意（ハ）不良賣藥行商の屆出（ニ）不完全なる煙突に對する對策（ホ）非衛生的便所設備發見の際の連絡（ヘ）塵芥箱、下水道不完全なるものに對する注意（ト）傳染病の隱蔽防止早期發見屆出（チ）傳染病豫防藥配布方（リ）傳染病院の出入に付(儀禮の見舞禁止)（ヌ）內地よりの新渡滿者に種痘施行勸誘方（事務局に對しの（一）水質試驗成績報告方（二）飲食衛生試驗設備（三）便所新築許可に際する希望等につき原口衛生係主任より說明をなし近く開催される衛生展覽會には全市民參觀をなすやう衛生組合で勸誘をなすこと座談會には全組合員出席するやう依賴して閉會した

調査會委員懇談會に 陸相出席を承認

陸軍側の態度緩和

【東京國通】議院制度調査會に對する寺內陸相の出席問題に關し政府は政黨側の强硬な出席要求と陸軍側の拒否的態度に板挾みの苦境に立ちその打開策に苦心中であつたが、十八日午前の藤沼書記官長と梅津陸軍次官との會見において陸軍側は從來の出席拒否の態度を緩和し兩者の間に調査會の貴、衆兩院側委員と陸相との間に兩院各別に非公式に懇談會を開き、陸相はこれに出席すること〻いふ妥協的處理方法の見透しを得たので同夜書記官長は副會長たる近衛、富田兩院議長に懇談會開催につき斡旋を要請した、よつて富田議長は同夜直ちに政民兩黨幹部に右の趣きを傳へ交涉した結果、政民兩黨とも十九日協議の上回答することとなり、一方近衛議長も書記官長の申出でを諒とした、斯くして妥協工作は十八日をもつて意外に好轉したので一兩日中に各黨派の正式回答があり次第會長あるひは副會長の案內の形式ですみやかに首相官邸に兩院側委員と陸相の懇談會を別々に招集すること〻なつた、これで陸相出席問題も一先づ打開の見込みが立つたやうである

松平宮相 侍從長後任を內奏

【東京國通】松平宮相は十九日午後二時宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付られ侍從長後任を內奏し同二時廿分退出した

秩父宮殿下海軍側隨行員 新見少將決定

【東京國通】秩父御名代宮殿下の海軍側隨行員として御渡英に隨ふ晴の大任は宮內當局と海軍省との間で愼重人選の結果、海の護りの第一線第二艦隊參謀長の要職にある新見政一少將に白の矢が立ち殆ど確定をみた、このため少將は十二月一日の海軍定期異動にて軍令部出仕に轉補を見るはずでその上正式に隨行員仰付られることになつてゐる

陸軍定期異動 御裁可仰ぎ廿一日內命發す

【東京國通】陸軍十二月定期異動は十八日寺內陸相が參內內奏御裁可を仰ぎ二十一日內命を發すること〻なつた、しかして今次の異動は八月の定期異動についで寺內陸相の肅軍方針に基いて行はれる第二次大異動であつて第一線將官級をはじめ中堅層に亙つて相當廣範圍に行はれ、陸相の手腕が如何に振はれてゐるかは陸軍今後の動向を示すものとして頗る注目されてゐる、なほ秩父宮殿下御渡英に御隨行申上げる陸軍隨員も同時に決定することになつてゐる

難局に善處するとみられる

ス政府の軍政兩權 ソ聯人で把握か

佛國航空大臣も援助

スペイン內亂に對する歐洲諸國の干涉乃至援助はますます露骨となりつゝあり、スペイン政府側はソ聯大使ローゼンベルグ氏が內面的指導に當り政府軍の最高指揮は事實上ソ聯大使館附武官ゴレウ少將が握つてゐると傳へられてゐるまたソ聯より供給せる兵器、彈藥は多大の量に上りソ聯義勇兵も相當入り込んでゐるが集結せる部隊を送るまでには至らない、なほ佛國においては航空大臣ホヤト氏が熱心な共產黨同情者として積極的に働きかけんとする態度さへみえるに對し佛國政府は大體において反對意向を有するも、ホヤト空相を抑制し得ない弱體を暴露してゐるといはれてゐる

革命軍愈よ バルセロナ攻擊開始

【リスボン十八日發國通】スペイン革命軍はバルセロナをもつてソ聯の政府援助に對する根源地と看做しいよいよバルセロナに向つて攻擊を開始する方針といはれる

戰鬪の犠牲者 一千七百餘名に達す

大部分は婦女子の死傷者！

【マドリッド十八日發國通】スペイン政府發表によれば十七日の戰鬪によりマドリッド市內の死者二百五十名、負傷者八百名を出した、十五日以降三日間の犠牲者は合計死者五百名、負傷者千二百名の多數に上り死傷者の大部分は婦女子である

革命軍の猛攻に 慘狀言語に絕す

【マドリッド革命軍陣地において十八日發國通】革命軍の空軍部隊は十八日早朝首都の要地に猛烈な爆擊を加へた結果、火災はいよいよ擴大し首都の主要廣場プエルタ・デ・ルソルでも數軒の建物に火災が起つた、政府軍は頑强に抵抗してゐるが、革命軍の空陸よりの强襲に夥しい死傷者を出し士氣全く沮喪してゐるといはれ、革命軍の進擊を阻止しやうとした外人部隊は殆んど全滅に歸した、市民は兩軍の亂射する砲彈と飛行機より投下される爆彈の洗禮下に生きた心地もなく地下鐵停車場や地下室に避難し寒さと危險に慄へてゐる

杉村大使 伊外相を訪問

【ローマ十八日發國通】杉村駐伊大使は十八日午後チアノ外相を訪問重要會談をとげた

獨、伊兩國政府 革命政權を正式承認

【ベルリン十八日發國通】ドイツ政府は十八日コムミユニケを發表、スペイン革命軍政權を正式に承認した

【ローマ十八日發國通】新聞宣傳相は十八日午後五時コムミユニケをもつてイタリー政府はスペイン革命軍政權を正式に承認せる旨發表した

獨伊の承認に 佛、英と共同戰線

【パリ十八日發國通】獨伊兩國政府がつひにスペイン革命政權を承認したとの報道にフランス外務省はウイーン會議當時から豫想してゐたところだけにさして驚いた樣子もないが、革命政權承認の結果獨伊兩國政府が公然革命軍を援助、カタロニア政廳に對しては自國海軍の精鋭を動員して隨時合法的に壓迫を加へるものとみて、バルセロナ地方における權益の擁護に腐心してゐる樣子で英國政府と折衝の上共同戰線を張つて外交上の

滿鐵支那留學生決定

【大連國通】今年度滿鐵甲種乙種支那留學生は左の如く十二日附をもつて十九日發表された

總裁室弘報課 職員 伊能源太郎
同 平島正毅
同 村上正
總裁室東亞課 職員 草柳英一
產業部資料室 職員 石井俊之
同 農林課 職員 外山二郎
奉天地方事務所 職員 大澤貞藏
甲種支那留學生を命ず
總裁室東亞課 職員 城戸四郎
鐵道工場 職員 田村清昭
大山採炭所 雇員 大木一郎
乙種支那留學生を命ず

滿鐵三參事非役

【大連國通】滿洲輕金屬製造會社重役に就任の根橋禎二、藤飯三郎右衛門、內針正夫の三氏に對し十一月十日附十九日社報をもつて左の如く發表された

參與 參事 根橋禎二
臨時アルミニユーム試驗工場長 參事 內野正夫
經理部庶務課長 參事 藤飯三郎右衛門
社員非役規定第一條第二號により非役を命ず（各通）

室町校首席訓導 溝淵氏榮轉

室町尋常高等小學校首席訓導溝淵豐太氏は今回農安に新設された農安日本尋常小學校初代校長に內定した

同氏は大正八年十二月室町小學校に着任以來丸十七ヶ年永續勤務の最古參訓導で四代の校長に仕へ、一昨年四月以來首席訓導としてよく校長を補佐し、父兄兒童からは慈父の如く慕はれた溫厚篤實稀にみる教育家で今回の榮轉は當然のものではあつたが各方面から惜まれてゐる

流石の溝淵氏も十七ヶ年目の轉勤を前に感慨無量の念に打たれて感想を語つた

十七年にもなりますからね丸で夢のやうですよ、當時兒童數が五百名そこ／＼のものでした、それが漸次增加して一時は一千九百名からに激增し、先生の數も當時校長以下十四名でしたが今日では三十二名（幼稚園まで加へて三十七名）にこれまた增加してゐます、それで一昨年白菊、八島兩小學校が新設されて分離されそれでもなほ在籍兒童九百名餘りあるのです、校長は西村、岩崎、上原、荒井の四代に仕へた次第です、何といつても滿洲事變が最も思ひ出でになります、次に八島白菊兩校へ兒童を分離したことです、その間大過なく仕事をさして頂いたことは父兄を始め、市民各位の御援助の賜と深く感謝いたします、今後とも何分御助力の程御紙を通じてお傳へ下さい

なほ同氏は二十一日午前九時發京白線で赴任の豫定である（寫眞は溝淵氏）

稻葉係長出張

滿鐵新京事務局地方課庶務係長稻葉賢一氏は本社と事務打合せのため二十日午後八時五十分の列車で大連に出張する

航空往來

▲小泉義雄氏（新京）十九日奉天から
▲五百城幸治氏（軍人）同
▲三宅初治氏（奉天）同
▲高山常哉氏（新京）同林西から
▲荒川安藏氏（軍人）同チチハルへ
▲原弘氏（同）同
▲長尾久吉氏（同）同
▲波木周治氏（同）同
▲和泉勘次郎氏（同）同
▲金澤六郎氏（航空會社）同奉天へ

昭和八年塘沽協定成立以來通車通郵電信連絡等相次いで滿支關係の平和工作が完成し▼殘る最後の問題たる通空は新に日支兩國間に一新紀元を劃する重要なる事業だけに双方愼重なる態度で臨み▼四ヶ年の星霜を經て茲に新會社惠通公司の出現となり十七日を期して華々しき開通式のテープは切られた▼同公司は日支兩方平等互惠の精神に基き日支間に誠心誠意をもつて相互檢討した結果生れた資本金四百四十萬元の會社である▼その有する航空路は天津—大連間、天津—錦州間、天津—承德間天津—張家口の四線であるが▼交通の利便上將又東亞の文化商業經濟上の發展を促進することの多大なることは言を俟たずすべての條件に於て將來の一大發展が約束されてゐる▼凡そ人を率ゐんとすれば先づ己の行を改めねばならぬ口に孔、孟を說いても心に邪あればそれは空念佛であると同じく人の上に立てばとて奢姿をなし毎日妾宅に入り浸ればその言ふことの徹底せぬは當然である▼己の非行を棚に上げて他をしいるは毛をふいて疵を求めるにひとしきこと〻知らずや御し難きかな匪賊と俄か大臣

社説

國策綜合統制機關
新機構と滿洲との關聯

一

日本に於ける國策綜合機關の新設はすでに決定的となつたやうである、この國策綜合機關は經濟參謀本部の機能を加味するものであつて、調査局、資源局、統計局、情報委員會等の全組織をこの機關に統合し、豫算の基本的調査に當るとともに朝野の權威者を集めて財政經濟政策の恒久的計畫樹立に當らしめるといふのである。その名稱はたとへば内閣總務廳といふやうな呼稱が假りに擧げられてゐるが、この點は未だ確定するに至つてゐない。而してこの國策綜合機關の長官は現閣僚が兼任するやうなことはなく他の方面に適任者を物色することとなる模樣である。なほ必要に應じては國務大臣として閣議に列せしむることを得るやうにする。時の情勢その他により無任所大臣たらしめるか否かは首相の判斷によつて決せしめ得るやうにすると言はれてゐる。

二

この新しい機關について注目されるのは、やはりそれが特に經濟參謀本部としての機能を持つて、經濟産業の綜合計畫の樹立並びに統制に當るといふ點にあるであらう。われらの解するところによれば從來とてもこのやうな機能は内閣の調査局、資源局等によつて遂行されて來たものである筈である。それがいま相當大きな變革を見やうとしてゐるのは客觀的な諸情勢の要求によつて、より高位の、またより綜合的であるところの機關によつて實行されることを要するに至つたと考ふべきであらう。新機關の組織が朝野の權威者を網羅し、參與制度を設けるといふやうな點にも新味は見られる。

三

日本の經濟國策と滿洲との關聯はつねにわれらの念頭に在る問題である。廣田首相は躍進日本の産業が殆ど軍需工業を中心としてゐる點を考慮し、その轉換が必要となるべき場合に備へて、本産業の轉換策として滿洲の産業開發を取り上げてゐると傳へられてゐる。永田拓相も國策として對滿投資の積極策を考慮すべきであるとして、現在の對滿事務局總裁の陸軍大臣を廢止し、同時に格上をして滿洲事務大臣とし獨立した對滿投資事業に關する事項を取扱ふ强力な機關とすることを國策綜合統制機關の設置と併行して研究すべしと主張してゐると傳へられてゐるのは注目されるところである。日本の國策と滿洲に於ける諸計畫の間には今後一層の緊密な結び付きが必要である筈であることにかんがみれば、機構の上に改革が行はれるとすれば、それによつて作り出される實際的成果が關心の對象である。

陸軍々備の充實こそ ―その精神―
陸軍省パンフレット（完）

列國の軍事費と總豫算との比率を比較することは前述の如く意味をなさないが、いま試みに純計々算によるわが國の軍事費の比率を列國のそれと對照すれば左表の通りである

（註）勿論本表は必ずしも正鵠を得てゐるとはいへないが純計々算によれば、わが國の軍事費は表記の諸國中最下位の部類に屬することがわかる、すなはち統計のとり方如何によつて結論は如何樣にも導き得ることが諒解出來よう

△日本　歳出總額七、八七〇、九七〇千圓、國防費計一、〇二二、七四三（一二・九九）
△英國　歳出總額七二九、九七〇千磅、國防費計一二四、二五〇（一七・〇二）
△米國　歳出總額七、六四五、三〇一千弗、國防費計一、〇三八、七五五（一三・五八）
△佛國　歳出總額四七、八一七、〇一二千法、國防費計一〇、六二二、七〇〇（二二・二三）
△伊國　歳出總額一九、六四五、六六七千利、國防費計四、三九四、八三七（二二・三七）

なほこれを各國民一人平均の負擔額により比較すれば次の通りであつて強いて比較すればこれまたわが國民の負擔は列國に比して最下位にあるともいへるのである

國名	軍事費	一名當負擔（邦貨換算）
日本	一、〇二二、七四三千圓	一二圓
英國	一二四、二五〇千磅	三九圓
米國	一、〇三八、七五五千弗	二五圓
獨國	八四〇、〇〇〇千麻克	一九圓
佛國	一〇、六二二、七〇〇千法	一〇圓
伊國	四、三九四、八三七千利	二〇圓

以上をもつてわが國の直面せる國際情勢ならびにこれに即應する軍備充實强化の必要について述べた

國防の本質については既に當局より數次に亘つて國民に説いた所であつて、今改めて繰返す必要はないが、今後の戰爭は國力戰であり、戰爭の勝敗はひとり武力戰のみによつて決するものではない、武力戰は戰爭の主體であり、武力は國防力の中核であつて、武力の充實が國防上第一義的のものであることは勿論であるが、武力と同時に綜合國力の充實を圖らねば、龍を畫いて睛を點ぜざるものである即ち今後の戰爭は武力戰、經濟戰、思想戰等が合體して綜合的の國力戰として展開するのであつて、就中思想戰はこれによつて遂に敵國を内部より崩壊し戰意を失はしめ、もつて一擧にして戰爭を終結に導くだけの働をなすものである、經濟戰は貿易戰、資源戰であり、更に經濟封鎖によつて經濟的に相手國の死命を制するものであり、これまた武力戰思想戰とゝもに有力なる戰爭手段である

□

以上の綜合國力戰の勝者たらんがためには國家の全智全能の一元的發揮が不可缺の要件であり、これがためには平時より國防體が完成してゐなければ到底その機能を發揮することは出來ない、今日庶政一新の高調せられつゝあるのは、一般政治的見地において從來の利己的個人主義的施設自由主義的政治行政が行詰りを來し、更始一新するにあらざれば國家の躍進繁榮ならびに國民全體の幸福を庶幾し得ない情勢となりつゝあるに因るのであるが、他方國防的見地よりみれば、庶政一新は日本精神を基調とし、近代國防の要諦に合致せる全體主義的國家の體制を整備し、國力の合理的運營發揚を庶幾せんとするにある

從つて國防の見地よりして平時においては發動せざる力である、有事の日武力戰の手段たる軍備の充實と、廣義國防の根基たる庶政一新とは不可分一體關係にあるものであつて、今回の軍備充實と併行して軍が庶政一新を要望しつゝあるは誠に故ありといふべきである、兩者のため必要とする經費は國民臥薪嘗膽するともこれを捻出するの決意が絶對に必要であり、これなくしてわが國防全きを得ず、國家の躍進また期するを得ないのである

第一次國有林施業案編成調査
林業百年の計を樹立

實業部林務司では從來森林の利用のみを主眼とした跛行的森林經營方針を矯正して漸次要存置國有林の恒久保續策を確立すべく左の如き施業案調査綱要により第一次國有林施業案編成調査が十一月より實施の運びとなつたが、右は滿洲國林業史上特筆大書すべき劃期的企圖としてその成果が期待される

施業案調査綱要
△滿洲國森林經營案樹立方針
一、森林面積及其蓄積
二、木材需給の狀況並びに將來の豫想
三、事業單位の標準
四、未立木地、散生地の施業方針
五、豫備林設定の要否
六、整理期設定の要否
七、事業地別事業單位の決定
イ、名稱は著名的な山川縣等の名稱にすること
ロ、林班區劃は標準面積を設定せる調査後に於てす
ハ、小林區劃はロに同じ
八、施業法根本觀念の決定
九、イ、事業區に於る保續關係
ロ、施業除外地の決定（準施業、制限地、除地等調査）
ハ、特殊施業地の決定（國土保安、治水關係並に委託林、保管林、部分林）
ニ、事業區の關係する市場並に施業林力の需給關係調査
ホ、年伐標準量の決定
A、現實林の林況によるもの
B、生長量によるもの
ヘ、初期編入箇所の決定（一施業期を十ヶ年とす）
ト、伐採並に更新方法の決定
チ、搬出並に貯材の計畫
リ、警備其他特種事情の調査及今後の對策
ヌ、將來の施業案編成の精密度決定に關する檢討（内地の施業案規定、林務司の編成調査心得、說明調制要領等を參照、測量測樹の方法）
十、試驗地の設定（試驗の目的方法を取纏方針確立）
十一、實驗林の設定
イ、一箇所五百一千町歩
ロ、大約北滿二ヶ所東滿三ヶ所の見込
十二、其他考慮すべき事項
イ、搬出系統調査―永久的又は一時的施設小は林道より大は汽車汽船に至るまで
ロ、木林市場の集散地域決定
ハ、將來森林資源並經營機關の充實したる後の森林

施行案調査個所は勃利林務署二道河子、延吉林務署草皮溝、同古洞河、敦化林務署沙河掌、吉林林務署威虎河で調査班は林務司計畫科を主體とする六班六區に編成し、調査面積四十一萬三千七百九十七町歩で調査期間を五十日として調査案の骨子は航空寫眞を基準に森林の概察測定を行ひ第一次の調査に於ては時期其他の關係上總括地林況の概察程度より森林施業上の三要素即ち樹種の選定、作業法の選定、輪代の選定等の調査をなし前記の如く十ヶ年を一施業期と決定し第二次調査は明春解氷期とゝもに開始する豫定

臺灣の時差撤廢 四月一日實施せん

【臺北國通】臺灣の時差（内地より一時間遅れ）撤廢についてはさきに諮問された總督府及び内閣局長、地方長官の回答は大體撤廢に贊成してゐるが、勅令改正等準備期間と豫算を伴ふので來年四月一日より實行することゝなる模樣である

質業取締法（上）

第一條　本法に於て質業と稱するは動産に對し質權を取得して金錢の貸付を爲すを業とするを謂ふ

第二條　質業を營まんとする者は營業所及營業方法を定め警察官署長の許可を受くべし營業所を増設し又は移轉せんとするとき亦同じ

第三條　質業者は營業所以外の場所に於て營業を爲すことを得ず

第四條　質業者は質入主の住所氏名明なる場合又は住所氏名明なる者之を證明したる場合にして且相當の注意を以て其の物品を質入し得べき權利ありと認めたる後に非ざれば質契約を爲すことを得ず但し警察官者の承認ありたるときは此の限に在らず

第五條　質業者は質入主の質入せんとし又は質入したる物品にして不正品の疑あるときは直に警察官吏に申告すべし

第六條　質業者は帳簿を備へ質契約及質物處分に關する事項を記載すべし
質業者質契約を爲したるときは質札又は通帳を質入主に交付すべし
前二項の帳簿、質札及通帳の調製並帳簿の保存に關する事項は主管部大臣之を定む

第七條　質業者は左の事項を營業所内見易き箇所に掲示すべし
一　利率
二　流質期限
三　質物の滅失、毀損其の他の事由に依り生じたる損害負擔の方法
四　營業時間

第八條　質業者は質物に付保管の責に任ず但し質物が不可抗力に因り滅失又は毀損したることを證明したるときは此の限に在らず
質物が不可抗力に因り滅失又は毀損したるときは其の質物に依り擔保せらる債權は其の限度に於て消滅す

第九條　質業者は質物の使用又は貸付を爲すことを得ず但し質物の保存に必要なる使用を爲すは此の限に在らず

第十條　警察官署必要ありと認むるときは質業者の轉質を制限し又は禁止することを得

第十一條　質業者の貸付利率は一月に付百分の四を超ゆることを得ず省長必要ありと認むるときは前項の範圍内に於て貸付利率を定むることを得

質業者は利子の外何等の名義を以てするも其の質契約に關し金錢其の他の利益を受くることを得ず

第十一條　利子の計算は月に依る
質契約成立の日より起算し翌月の應當日の前日を以て一月とす其の月に應當日なきときは其の月の末日を以て一月とす一月に滿たざる端數あるときは之を一月として計算す
貸付金に對する利子にして一分未滿の端數を生じたるときは五厘未滿は之を切捨て五厘以上は之を切上ぐ

第十二條　流質期限は十二月を下ることを得ず
省長必要ありと認むるときは地域を限り前項の期限より短き期限を定むることを得
流質期限の計算に付ては前條の規定を準用す
質業者は質物が滅失又は毀損の虞あるものなるときは警察官署の承認を受け流質期限に付別段の約定を爲すことを得

第十三條　質契約にして前三條の規定又は第十條若は第十二條の規定に基く命令に違反するものは其の制限内に於て之を有效とす

第十四條　質入主は流質期限前何時にても元利金を辨濟して質物を受戻すことを得

第十五條　質業者は質札又は通帳を所持する者に其の質物を返還することを得

第十六條　質業者は流質期限經過したるときは元利金の辨濟に代へて其の質物の所有權を取得す
質入主は前項の規定に依り質業者が質物の所有權を取得したる後と雖其の質物を處分せざる間は流質期限經過後三月内に其の質物の買戻を請求することを得
質入主前項の規定に依り買戻を爲す場合に於ては元金及其の買戻の日迄の質契約に定むる利子に相當する金額を代金として質業者に提供することを要す

第十七條　警察官署長は質業者の占有に係る質物が賍品又は遺失物なることを確認したるときは流質期限内に限り之を徵收し被害者又は遺失者に無償還付し被害者又は遺失者知れざるときは徵收に代へて質業者に其の保管を命ずることを得但し其の質物にして盜難若は遺失の時より二年を經過したりと認めたるとき又は其の質入主が民法第九百五十條の占有者なりしときは此の限に在らず
前項の場合に於て被害者又は遺失者知れずして盜難又は遺失の時より二年を經過したりと認めたるときは質業者に保管を命じたる場合と否とを問はず質業者に其の質物を還付すべし
警察官署長は第一項の規定に依り質物を徵收したるときは徵收證を交付すべし

日露漁業條約延長 樞密院通過

【東京國通】樞密院定例本會議は十八日午前十時より宮中東溜間において開會天皇陛下の親臨を仰ぎ御諮詢案
一、日本國、ソヴィエト社會主義共和國聯邦間漁業條約の効力延長に關する議定書及び附屬文書に署名の件（議定書一通、交換公文三通、會議錄一通より成り、その主なる點は現行條約の有效期間は本年十二月末日となつてゐるのを更に向ふ八ヶ年間延長し、同時に交換公文中に漁區安定を目的とした各種の取極めを規定したるもの）を上程、荒井委員長より案の内容および審査委員會の經過ならびに結果を報告し審議の結果異議なく原案通り可決、天皇陛下入御あらせられ同十一時過ぎ散會した
よつて政府は案の御下渡しをまち直ちに持廻り閣議で決定有田外相より在モスクワの酒匂代理大使宛訓令を發し廿日同地においてソ聯側代表カズロフスキー極東部長との間に正式調印を行はしめることゝなつた

持久戰法で赤色分子掃蕩
在滬日本紡績の對策決る

【上海十八日發國通】豐田紡の暴徒襲擊事件で今回の工人罷業は背後に相當有力なる赤色分子が動いてゐることは明確であるが、これに對し日本人紡績としては職工内に喰入つてゐる赤色分子掃蕩するまで氣永に待つといつた態度に出る方が賢明であるとの意見が起り、在滬日本紡績同業會では十八日午後開催の水曜例會において紡績首腦者が集つてこの件を討議し、しばらく形勢を見ることになつた

ソ聯、政府軍に毒瓦斯、炭疽菌輸送

最近某機關に達した某外人旅行者の談によるとソ聯政府はスペイン政府軍に對し毒ガス及び炭疽菌を輸送し、約二週間前バルセロナに到着したる豫定であり、さる十三日革命軍は政府が毒ガスを使用した旨内外に聲明したとの事である、その毒ガスはモスクワ西北約五十キロの地にて製造せられたるものにして地下約二米に浸透し、二年間有効といふ驚く可き性質を有すと稱されてゐるが眞僞は不明である、また炭疽菌は二年前シベリヤにて實驗濟みなる由傳へられてゐる

商況欄（十一月十九日後場）

海外經濟電報

●上海標金 前引 一二五三、一
●上海爲替

日本向
第一回賣買 一〇三、八七五　一〇四、一二五
第二回賣買 〃 〃

倫敦向
第一回賣買 一志二片一六分九　三二分一九
第二回賣買 〃 〃

紐育向
第一回賣買 二九弗一六分二　八分五
第二回賣買 〃 〃

株式相場
▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
大新	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
五品新	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
電甲	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
滿興	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
優先	[illegible]	[illegible]

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
錢鈔新	[illegible]	[illegible]
東鐵新	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
二新	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
鐘	[illegible]	[illegible]
滿取新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

手形交換高（十九日）
金額 票數 [illegible]

新京取引市況（十一月十九日後場）

現物（一石値段）

品目	寄	引	出來高
大豆	一七、一〇	―	一車
高粱	―	―	―
小豆	―	―	―
吉豆	―	―	―
玉蜀黍	―	―	―

定期（混合百斤値段）

品目	寄	引	出來高
大豆 十一月限	五、三五	五、〇四	三車
大豆 十二月限	五、一九	五、三五	一六車
高粱 十一月限	四、一〇	―	一車
高粱 十二月限	―	―	―

鮮魚小賣相場
最高最低（十九日）百匁

品名：活鯛、次鯛、小鯛、通鯛、チヌ鯛、アマ鯛、イセエビ、車エビ、ブリ、ヒラス、マナ、鮭、サハラ、スズキ、赤ムツ、ニベ、サバ、アラチ、メバル、ヒラメ、コチ、コノシロ、ホーボー、キス、タコ、水蛸、飯蛸、カニ、甲イカ、サヨリ、アナゴ、アワビ、シジミ、ハマグリ、ブリ、サワラ、カエビ、小エビ、タイラ　[values illegible]

便利になつた 日滿支間の交通
天津へ飛ぶ航空路開通て

昭和八年來懸案の日支航空連絡は日支合辦の新會社惠通公司の出現により十七日午前十時を期し華々しく開通のテープが切られた今まで新京から天津北平方面への旅行は陸路奉天を經て數十時間を汽車に搖られ又大連からは船により數十時間を要したものが一日で連絡されることゝなり正に日支兩國間に一新紀元を劃されたわけである開通せる航空路は天津—大連間、天津—錦州間、天津—承德間、天津—張家口の四線で新京からは滿洲航空會社線が錦州で連絡し毎日一往復、大連經由は月水金一週三回連絡することに決定した、なほ新京から錦州經由天津行きの航空賃金は新京—錦州間卅三圓錦州—天津間卅六元大連經由天津行は新京—大連間三十四圓大連—天津間は五十元となつてゐる因に元の換算は百元に對し國幣百四圓の割合となつてゐる

全滿最初の諸議會
奉天市議會開會

【奉天國通】全滿に魁けて結成れた奉天諸議會の第一回會議は十九日午前十時から市公署會議室で開催、まづ王市長の開會の辭についで上田議員が市長の指名によつて議長席につき議事に入り諸議會々議規則案の審議を爲したのち王市長および山口參與官から奉天市施政方針ならびに康德四年度奉天市豫算につき詳細說明あり、正午第一回會議を終了した

相川總督府外事課長 十七日東上

【京城支局】對滿貿易振興に關しては既報の如く總督府では本年度中に外事課內に通商係を設立すべき計劃を樹てると共にさきに宇佐美奉天總領事佐藤ハルビン領事と第二次會談を遂げ、更に引續き見本市の開催、第二次鮮滿關係者協議會開催等を目論んでゐるが愈よ本格的振興策遂行に際し政府を始め各關係要路の協力方を求めるべく相川總督府外事課長が約二週間の豫定で十七日午後三時發列車で東上したが、同課長は對滿貿易の外に倚治外法權撤廢後に於ける在滿朝鮮人の教育機關、醫療機關等の諸施設整備に關し種々折衝することになつてゐる

ひとのみち哈爾濱支部 近く解散せん
當局の自發的解散勸告て

全滿におけるひとのみち教團の布教に關しては豫て關東局で斷乎取締りの方針を聲明し邪教撲滅を圖つてゐるが、當地領警でも過般來ひとのみち哈爾濱支部の取調べを內々續行して居り、仄聞するに哈爾濱支部に關する限り不正行爲はない模樣である、しかしながら既に邪教としての全貌を暴露してゐる今日當支部に對しても自發的解散を勸告することゝなり、十八日支部長松田松之助ならびに信徒總代松崎松次兩名の出頭を求め、小池高等主任の下で嚴重取調べを進めてゐるが、いづれにせよ近く解散になる模樣である

滿洲國教育制度の根本的刷新斷行
教育法案制定に着手

滿洲建國以來舊政權時代の教育制度改善に關し文教部當局は昨年來鋭意これが研究をつゞけ來つたが、今夏同部總務司長の更迭と久しく缺員のまゝであつた學務司長に都富氏の就任をみて、部內の刷新整備を終つたのでいよいよ積年の計畫であつた教育令を制定しこれによつて教育制度の拔本塞源的改革を斷行することゝなつた教育法案は目下學務司を中心に鋭意審議を進め草案の完成を急いでゐる、すなはち滿洲國現行の教育制度は舊政權時代米國の自由主義的教育方針を採用し、爾來滿洲國建國に至つてもこれを踏襲し來つたもので、王道國家滿洲國の教育の國是たる道德教育、實業教育の方針に合致しない點が多い、文教部當局ではこれに鑑み本年五月全國學務科長を招集し教育令の制定に關する打合會議を行ひ、當局の方針を指示するとゝもに各地方の實狀を調査研究せしめるところあり爾來これに伴つて數次の各種會議を重ね一方調査員を各省に派遣し資料の蒐集調査を行つてゐたがさらに本年末までには各專門家を網羅する審議委員會を特設し、明春には教育令の發布をみる運びとなつた、しかし法令の實施には一ケ年の豫備期をおくことゝなつてゐるから法令の實施によつて文教部積年の大計畫事業完成をみるのは康德五年となるわけである

懸賞付廣告は不許可
總督府の方針

【京城支局】輓近半島の著しき經濟界好轉に伴ひ商店界は逐次殷盛を極め販路擴張、顧客吸集を目的とする廣告術は功妙且つ複雜化し消費者の心の機微を狙つて種々奇術妙策を畫してゐるが、最近廣告の一策とし新聞等の報導機關を利用し懸賞課題を發表、商品を包裝して殘箱又は効能書を答案用殘に指定答案を求め正解者には抽籤により賞を贈る等の方法が非常に多く用ひられるに至り、而して斯くした懸賞廣告術は一般大衆の心理を吊り上げ甚だしく惡影響を與へ而も稍もすれば不正品販賣、懸賞答案抽籤の不純不合理的のものが多々あるところから總督府警務局では民心に及ぼす影響を憂ひ、今回斷乎として許可の有無、不合理合理のものを問はず一齊に禁止せしめることになり此の程鮮內各道知事に嚴しく取締り方を示達した、尚右方針は廣告を生命とする商店界には多大の打擊を與へるものとして注目されてゐる

義士打入を記念し 全滿鐵武道大會
來月十三日商業講堂開催

滿鐵運動會新京支部、滿鐵社員會新京聯合會は赤穗義士打入りを記念し滿鐵社員の精神作興運動の一として十三日午前九時から新京商業學校において第二回新京全滿鐵武道大會を開催することゝなつた、種別は日本武士道の華たる劍道柔道の二種目で試合方法は團體試合と個人試合に分ち出場選手は團體個人を合せて二百餘名に上る見込みで未曾有の盛況を豫想されてゐる

通關代辦人法 十九日公布

保稅法の施行に伴ひ奉天、新京、哈爾濱に開設せられる保稅區域の出入貨物については新たに通關代辦人を必要とするに至つたので、滿洲國政府は通關代辦人法を制定十九日勅令をもつて公布來る十二月一日より施行することゝなつたが本法の大要は左の如くである

一、通關代辦業を稅關長の許可營業とする
二、通關代辦人をしてその營業地毎に一定の身元保證物を供託せしめこれを稅關に納付する、金錢並に委託荷主の損害賠償債權の擔保とする
三、通關代辦人の通關取扱料につき認可制をとる
四、その他稅關の監督取締、荷主の保護及び罰則等の規定

しかして同法施行にあたり財政部の方針としては許可すべき代辦人の數を奉天十名、新京、哈爾濱各五名程度とし、その他既設稅關所在地では原則として從前の代辦人の數を限度としてゐる、なほ既存業者に對する過渡的辦法として從來安東、營口などにおいて日本官憲の許可を受け通關代辦營業をなし來つた者は所轄稅關長に對する屆出のみによつて營業の繼續を認めることゝしてゐる

古美術展
哈市商品陳列館

哈爾濱商品陳列館では、來る廿二日から廿八日までの一週間古美術展覽會を開催するがロシア、支那、日本の繪畫、工藝品が出品されてをり、なかでも六世紀頃エヂプトからロシアに持つて來られたといふイコーナ（聖人の像）は最も珍品とされ、各方面の好事家を喜ばせてゐる

ラヂオ受信機輸入販賣制限
取締規則を制定

曩に交通部で制定公布した電氣通信法および同法附屬の放送聽取無線電話規則はいよいよ明年一月一日から

施行

さるゝことになつてゐるが、交通部ではその機會にラヂオ受信機の輸入および販賣について一定の制限を加ふることゝし、關係方面と連絡をとつてその取締規定を制定中である右取締規定制定の理由は元來滿洲國で備付け得るラヂオ受信機は從來の援用法規でも今度實施さるゝ放送聽取無線電話規則でも一定範圍の長波または放送波（中波）を受信し得るものに限られてゐたが、ラヂオ受信機の輸入販賣がその種類の如何を問はず自由になつてゐるために故意にまたは法規を知らないで、最近國內各地で

施設

を許された以外のいはゆるオールウエイブまたは短波の受信機を備へつける者があり、それは國外との秘密通信に利用され或は國外の逆宣傳に乘ぜらるゝ虞れがあり、また往々これ等の受信機に入つて來る一般無線電信の秘密が漏洩される虞れがあつてこれ等不法施設のおよぼす害毒は尠くないので、この種不法施設の根源をなくする目的をもつて制限外受信機の輸入販賣を取締らうとするものである、それによるとオールウエイブまたは短波のラヂオ受信機を輸入または販賣せんとする者にはすべて交通部の許可を受けしめ、またこれ等の受信機を販賣したラヂオ業者に販賣の都度販賣先等を屆出させこれに違反した者には一定の制裁を加へようといふのである、この取締規定は來年一月電氣通信法規の

施行

と同時に實施をみる豫定であるがこれによつて從來のこの種不法施設は影をひそめるものと思はれる

復縣交通會社 事務所落成

復縣交通株式會社は從來滿人家屋を利用して居たが旅客の不便と車庫の不完備に考慮し縣街文欄橋畔に事務所車庫等新築し十六日午後三時より事務所に營業に直接關係ある所屬長及新聞各支局長を招じ落成披露宴を張つた、式上賀來事務の挨拶中根選越係長の答辭ありて盛宴裡に散會したのは午後五時であつた因に瓦房店支局は各路終點地の名所特望を織り込める左記俗謠を祝とした（磯ぶし）

一、復州縣內蜘蛛の手擴げ、たとへ山中海邊のはても迎へ送りはバスで勤める交通會社
一、あすの日曜を舊城の視察名所古跡や古刹を探る送迎へを頼みますぞへ交通會社
一、西の海邊の娘娘宮は出船入船あの帆片帆バスで行きましよふ釣道具さげて
一、鹽に粘土にあの石炭に釣に潮干又鳥射ちにバスで行きましよふ伴に手をとりあの復州灣
一、かすみ打網釘竿肩に鮎や大鯉小鮒漁に行きましようあの復東嶺

滿鐵社員會本社聯合會結成

【大連國通】滿鐵社員會大連第一聯合會、同第二聯合會は今回職制改正の結果解消し新たに本社聯合會を組織することゝなり十八日午後零時二十分より協和會館において結成式を擧行、總裁以下關係者の祝辭、宣誓あり、おわつて一同殉職社員記念碑に參拜して閉會した、なほ本社聯合會役員は左の如く決定した

聯合會長　押川一郎、幹事　松田和雄、石橋信延、戸谷泉也、古賀董

桓仁縣治安隊の掃匪

第一軍管區司令部入電—周中尉の率ゐる桓仁縣治安隊〇〇名は十七日午前五時桓仁縣油平溝において九勝軍匪の山寨を發見包圍攻擊四十分にしてこれを殲滅した、斃死六、捕虜七、わが方損害なし

石原大佐 滿鐵首腦部と懇談

【大連國通】十八日朝來連した參謀本部作戰課長石原大佐は正午星ヶ浦松岡總裁邸を訪問、松岡、大村、郡山、佐々木、佐藤、阪谷の諸氏と午餐を共にしつゝ懇談した

哈爾濱の生活改善運動
「滿洲では滿洲の生活」をモットーに各代表者起つ

慣れぬ北滿の生活に病を得てたほれる移住日本人が最近目立つてふえて來たが、この傾向は百萬戸農業移民や商工業者の大量渡滿とゝもにこれから先一層甚だしくなるに違ひない、大和まずらをの大雄飛の壯途が北滿の假借することのない酷寒の前に無殘にうちしがれてゆくさまは輕々に看過することは出來ない、最近當地總領事館、特務機關、鐵路局等ではこうした實情からこの際北滿の生活にたえる方法を確立し、廣く一般人とゝもに進んで健康を增進することに徹底させねばならぬといふので代表者が集つて生活改善方法の研究を行つてゐたが、いよいよ近く定期座談會を開くほかパンフレットを發行して積極的に家庭と街頭によびかけ「滿洲に來たら滿洲の生活」をモットーに一般人の衣食住その他について指導を行ふことになつた、またこの趣旨を徹底して哈爾濱に恒久的機關として保健研究所を設置せよといふ聲も漸次高まつてゐるが、近く關係機關で具體案の研究に移るはずである

鮮滿警備一体の打合に 三橋總督府警務局長近く來滿

【京城支局】三橋總督府警務局長はさきに國境警備並に討匪工作に就いて東條關東憲兵隊司令官と重要會談を遂げ鮮滿軍警の完全なる提携案が成立したが、更に對伐策戰、密輸根據、朝鮮人警察官滿洲國採用等に就いて充分打合せの必要ありとし目下丹下保安課長を渡滿せしめ下打合せを行はせてゐるが、引續き十二月初旬警務局長自ら渡滿し滿洲國側軍政部大臣、民政部大臣並に警務司長、關東軍司令部あたりと第二次軍要會談を行ふことになつた、而して今回の警務局長の渡滿に依り匪賊討伐を始めとし鮮滿間に横たはる諸懸案は一氣に解決され徹底的鮮滿警備一體の大方策が確立されるものと期待される

市立醫院長及科長暫行代決規定

市公署では訓令第二〇〇號を以て左の如き市立醫院長及科長暫行代決規程を公布した、左に掲ぐる院務に付ては醫院長及科長をして之を代決せしむ、但し重要又は異例事項は此の限に在らず

醫院長代決事項
一、傭人の進退及賞罰の詮衡
二、雇員以上の進退及賞罰の詮衡
三、雇員以下の出張
四、制規定例ある事項の諸證明屆書、報告、復命書の査閲並處理

事務科長代決事項
一、職員の身許前歷照會
二、當宿直及院內取締
三、制規定制に依る官印の押捺
四、制規定例ある輕易なる事項の諸證明屆書、報告の査閲
五、輕易なる事項に關する照會又は回答若くは決定及處理
六、職員の請假早退の承認及時間外勤務の命令

新京神社の新嘗祭

新京神社では來る二十三日の新嘗祭に午前十時から左の式次により祭典を執行する

式次第

當日早旦社殿を裝飾す、時刻社司以下所定の座に著く
△幣帛供進使參進是より先手水の儀あり
△幣帛供進使祓所に著く
△修祓御幣物、供進使、神職參列員
△幣帛供進使以下所定の座に著く
△御幣物辛櫃を便宜の所に置く
△社司諸事辦備せる由を幣帛供進使に申す
△社司御扉を開き畢りて側に候す、此間奏樂警
△社掌神饌を供す此間奏樂
△社司祝詞を奏す
△幣帛供進使隨員御幣物を辛櫃より出し假に案上に置く案は豫め便宜の所に設く
△社司御幣物を奉る
△幣帛供進使祝詞を奏す
△幣帛を奉りて拜禮社掌以下列拜
△社司玉串を奉りて拜禮社掌以下列拜
△社掌以下御幣物、神饌を撤す此間奏樂
△社司御扉を閉ぢ畢りて本座に復す、此間奏樂警
△社司祭儀畢れる由を幣帛供進使に申す
△退出
△直會

敷島高女生見學

敷島高等女學校五年生百五十名は平野、小原兩教諭引率のもとに午後二時より郵便局並に新京警察署を見學した

京白線防疫解除

京白線におけるペスト防疫は十七日[illegible]に解除された

文化協會事務所移轉

滿日文化協會事務所は新京特別市大同大街二〇二大興ビル二階二三三號へ移轉した、電話は二—三七四六

馬車內の忘れ物

▲十一月三日五馬路より吉野町まで（ビール瓶一袋）大經路警察署保管▲清眞寺より三馬路まで（麥粉、石油、醬油其他在中）同▲十一日（小說一册）同▲十三日（滿人靴、滿服各一）同▲十四日二道河子より附屬地まで（白布二枚）同

婦人

ウインター・スポーツ

フキギユアー・スケーチングに就て

（一）　打越定男

愈よウインター、スポーツの王座、アイス、スケーチングのシーズンが參りました。皆樣スケートの御用意は出來ましたか、只今から一つスケートと言ふものを行つて見たいと言ふ樣な極く初歩の方々への參考として、此の氷滑りと言ふことに就きまして、準備篇と滑走篇とに分けて遊べて見ませう。

準備篇

年毎にスケートをする者の增加して行き殊に近年著しくフイギユアー・スケーチングの研究者の眼に見えて多くなつて來ました事は私達にとつてばかりでなく吾が滿洲スケート界にとつても實に喜しい事であります。

今更言ふ迄もないことですが滿洲に限らず、氷の張る所に於て、此のスケーチングと言ふものが、ウインターに於ける唯一のスポーツとして、之位體育上理想的なものはありません。

スケーチングと申しましても之を大體左記の樣に、三種類に分ける事が出來ます。

一、フキギユアー・スケーチング
二、スピード・スケーチング
三、アイス・ホッケー

右の中二、三は相當の條件が必要です。第一、スケートは夫々專用のものでなければなりません。

即ちスピードをしたい方はスピード專用のスケートが必要であり、ホッケーをする者には、ホッケー專用のスケートが必要であります。

第二、身體の强壯な者……心臟の强い者、腰の强い者、脚の健全なものでなければなりません。

從つて以上の條件を滿足すると言ふ意味に於て、自然此所にわいてくる問題は年の制限と言ふ事です。

結局二、三は青年時代のものとして、スケーチング・ライフの大變短いものと言はねばなりません。

此の點から見ますと一のフキギユアー・スケーチングと言ふものは、體力と言ふものを餘り重要視しません。從つて如何に可弱き女性と雖も、容易に之に親しむ事が出來、優美にして然も高尚且つ高級な藝術的スポーツであります。スケーチングは一見

脚ばかりの 運動の樣でありますが、決してさうではありません。フキギユアー・スケーチングの如きは身體全體が均等に運動し、恰も夏に於ける水泳と好一對とも言ふべきもの、然も非常に變化に富んだ運動であるだけに、スポーツとして之位愉快且つ理想的なものはありません。

多になり幾多の運動が一時に頓挫してしまふ時、新鮮なる寒氣の中に、全身を扼動して思ふがまゝに氷上を走る愉快さ！

自然と言ふ最も貴いものを背景にして、水晶の如き多の日和に、スケートを抱いて、白雪の靈峰旭日に輝き、麓をめぐる紫の霞の絶え間より、生れ出でたる氷の湖で、或は陽西に沈みて、脚下より暮れそむる夕、紫紺の山の端を辷り出でたる月影溶々の中に、スケーチング其のものより來る快味以外に、自然の唇より洩れ來る獸々のさゝやきを聞きつゝ……考へるだけでも内地のリングはユートピヤです。

以上の如く年齡に制限なく老若男女の何れを問はない此のフキユアー・スケーチングは其の規則的練習に依り、容易に會得し得るもので、又長く\く趣味のスポーツとして樂しみ得る性質のものです。

此の理想的 たるフキスポーツ ギユアー・スケーチングについて、今日迄の多くのスケーターを見るに、殆んど其の九分通りの者は我流であると言ふて良い。

此の自己流と言ふ事は、其の人の進歩上の一大障碍ともなるもので……ヴアキオリンに例をとつて見ますと……我流の者と師事したものとの相違はその音色だけでも容易に識別する事が出來る程著しい段楷を作つて居る樣なもので、此のフキギユアー・スケーチンブも出來るだけ我流にとらはれない樣充分心して練習せねばなりません。

今多は幸にして各スケート場には初歩者に對しては夫々指導者と言ふものを派遣してあるさうですから、右指導者について實地にコーチを受ける事が上達の近道でありませう

欠□伸□は

何故傳染するか

△…血液の循環を促がす

「人樣の前でアクビをするとお行儀が惡いといはれますよ」お母樣も先生もかう敎へます。併し、お行儀が惡いといふことと、健康によくないといふことは何の變りもありません。それどころか、お行儀の惡いことが往々健康に宜しいといふ困つた結果になる場合があります。しかも面白いのはアクビの傳染病であります

一番 困るのは宗敎家のお說敎で一人がアクビをしたら最後忽ちに猛烈な勢で傳染します。つゝましやかな連中だけにハンカチを出したり、掌でおさへたり、或は嚙み殺さうとしたり努力はするもののいつかな追つきません。そこで一體アクビはナゼ傳染するのでせうかといふことから先にお話しますこれは併しペストやコレラのやうに細菌の作用によるものではなく全くの模倣性から來ることは明らかであります例へば手や脚を延ばしたりすると思はず眞似がしたくなるものですが、此の樣な動作がまたアクビを誘ふ原因となることも確かであります。アクビは今まで誤解されてゐたのです。退屈な說敎や食べすぎた後などにアクビの出ることは爭ひませんが、これとは反對の原因からアクビの出ることが往々あります。例へば芝居を見てゐて非常に緊張した場面などで出ることです。これを見ると精神的な退屈が原因になつてゐるのではないことが分ります、そこでアクビは精神よりは筋肉が原因になつてゐるのではないかといふ疑問が先づ起ります。人は退屈すると肩が凝るとか首が痛たくなるとかいひますが、これは科學的にも正しいのです

首の 苦痛を救ふためにアクビをさせるのだといふのが生理的必然です。お說敎なども坊さんの顔に注意を集中して長い間首を動さないために首が痛くなり、從つてアクビが出るのです。これに反して面白い話をきいてゐる時は、精神的活動のために心臟の活動を促し、新鮮な血液が上昇しますから首に痛まず從つてアクビも出ないといふ結果になるのですそれ故にアクビの生理は、たゞ首にある血液を他の部分へ追ひやつて、首の血液が缺乏する所から來る若痛に過ぎないのです。忘れてならないのは身體が完全に休息してゐる時が心臟の輪出作用も完全に行はれるといふことです。アクビは首の部分に衝動を與へ血液の循環を促進する効果があるのです。その故健康にもよいことゝなります。動物は私共と反對に緊張した時に口をきゝアクビに似た動作を致します。それ故にアクビは最も古い自然療法の一つだといへます。そして健康の上から見たら必要な動作だと云はなければなりません

主婦のメモ

食べ物を柔かに煮るコツ

一、貝殼は大根でたいておいて煮てもよろしく、又番茶を加へて煮てもやはらかに煮えます。
一、肉類はしばらく酢につけておくか、又は煮る時重曹を加へてもよろしく、鹽湯で煮ることもよい方法です。
一、小豆は小半日程も水に浸しておいた後煮ると柔かに煮えます。
一、黑豆は重曹を加へて煮るか小豆同樣水につけて後煮ます。
一、そら豆は水にひたしておいた後重曹を加へて煮ます。
一、干瓢は鹽水で洗つた後煮ると早く煮えます、ごく少量の重曹を加へますと大變柔かになるものです。
一、ゴボウはお米のとぎ汁で茹でた後煮るとアクも少なく柔かく煮えます。

小唄五曲

後七・五〇 東京より　唄 堀小奈和　三味線 堀小奈美

一、空や久し
本調子「（國八）空や久しくくもらるゝ（一中）降らるゝ雨も晴れやらぬ（淸元）濡れて色增す青柳の糸のもつれが氣にかゝる

二、水の出ばな
本調子「みづの出花と二人が仲はせかれあはれぬ身の因果たとへどなたの意見でも思ひおもひ切る氣は更にない

三、重ね\く
本調子「重ね\くも淺間敷い深き心の主さんをまた引戻す木下川で洗つて見たい菊模樣

四、待ちわびて
本調子「待ちわびてねるともなしにまどろみし枕に通ふかねごとも夢か現かうつゝかゆめか覺めて淚の袖袂あれ村雨が降るわいな

五、をしどり
本調子「をしどりの飛び立つ程に思へ共、とはれぬ辛さ待ちわびて無理に合せた爲算じれて迷ふてじれて煙草に齒のあとが夜明けの星の二つ三つ四つ

けふの番組

（M・T・C・Y）（新京 放送局）二十日（金曜日）

朝

六、五〇 ラヂオ體操（東京）
七、一〇 氣象通報 入港船のお知らせ（大連）
七、一五 語學レコード
七、四〇 朝の音樂（レコード）ジークフリート牧歌 ワグナー作曲 第一樂章第四樂章 ウキーン・フイル・ハアモニック管絃樂團
八、三〇 經濟市況（東京）
八、四〇 建國體操
九、四〇 經濟市況（大連・新京）
一〇、〇〇 家庭講座（奉天）子供の扁桃腺とアデノイドの話 醫學博士 松井太郎
一〇、二〇 料理獻立（奉天）
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京・新京）

晝

〇、〇一 經濟市況（大連・新京）
〇、二〇 晝の演藝（レコード）
第一部國民歌謠
一、夜明けの唄…奧田良三
二、嫁ぐ日ちかく…月村光子
三、鄕子の實…東海林太郎
四、乙女の唄…結城道子
第二部流行歌
一、歡びの朝…東海林太郎
二、心の朝露…五條貴子
三、戀の繪日傘…上原敏
四、夢で逢ひたい…澤雅子
五、ふるさとの夢…河崎一郎
六、愛戀歌…山中みゆき
二、〇〇 經濟市況（大連・新京）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京・新京）
三、三〇 經濟市況（大連・新京）
四、二〇 ニュース（鮮語）
講演 鮮語商租權整理手續に就て 滿蒙日報記者 崔活
五、〇〇 子供の時間（鹿兒島）お話 櫻島大根 鹿兒島高農敎授 安齊 [illegible]
五、二〇 コドモの新聞（東京）村岡花子

夜

五、二五 講演（東京）陣中兵士の樂しみ 陸軍少將 伊藤政之助
五、五五 カレントトピックス（東京）
六、〇〇 ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
六、三〇 生活改善座談會（東京）外國人に對する作法 司會 柳澤健 高久甚之助 柵橋源太郎 醫學博士 東俊郎 ガンドレット恒子
七、〇〇 管絃樂（東京）日本放送交響樂團
七、三〇 落語（東京）禁酒番屋 三笑亭可樂
七、五〇 小唄（東京）唄 堀小奈和 三味線 堀小奈美
一、空や久しく 二、水の出ばな 三、重ね\く 四、待ちわびて 五、おしどり
八、〇〇 映畫劇（東京）荒城の月 原作並脚色 伏見晁
八、三〇 時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
九、〇〇 小唄（奉天）三味線 堀小多葉
一、…市丸（イ）逢ふて別れて（ロ）ほんのりと
二、…多美龍（イ）三つの車（ロ）まゝになるなら
三、…米八（イ）待ちわびて（ロ）向ふ通るは（ハ）蟲の音（ニ）酒と女
四、…唄 堀小多葉 三味線 米八（イ）新曲 比翼塚（ロ）可愛いお方
九、三〇 ニュース再放送
一〇、〇〇 北滿の時間（哈爾濱）

松竹大船スター出演

荒城の月

佐々木景佑の演出で

後八・〇〇 東京より

配役
多岐廉太郎…佐野周次
三浦淸作…佐分利信
靜江…高杉早苗
お光…高峰美枝子
健吉…葉山正雄
敬子…水戸光子
おたみ…二葉かほる
善助…野寺正一

音樂學校の敎師多岐は「荒城の月」の作曲のため幾年振りの故鄕を訪れた。そこには小學校の敎員をしてゐる三浦といふ竹馬の友が待つてゐた、二人は相携へて城跡を尋ね、來し方、行く末を語らつた。

……高杉早苗さん……

多岐はその歸る路すがら鉛筆が買へないために學校へ行かずにゐる少年健吉を見て銀貨を與へた。そして其夜は暖い三浦の家族の晩餐に圍まれた翌日、多岐の旅宿に、姉お光に叱られた健吉が鉛筆と殘りの金を返しに來たことから、多岐は貧しいお光の一家に同情した三浦の妹靜江は多岐を思ひ慕つてゐた、三浦は多岐に妹を貰つてくれないかと相談した。多岐は健康の點と自分に夫たる資格が無いと眞情を語つた。やがてその心持は靜江の心を明るくした。しかし或る日、城跡で作曲に餘念のない多岐は其處へ栗拾に來たお光に會つた。それを見てしまつた靜江の失望。妹を思ふ三浦は卒直に多岐に聞いた。誤解は忽ちに解けた。それからも病をおして多岐はいつものやうに作曲に精根を盡してゐたそのとき、彼の耳に聞へた健吉の吹く目白笛、それが彼の心の金線に觸れた。忽ちに「荒城の月」は五線紙の上に書き現はされた。けれどもこの町にたつた一つのピアノのある家は懷しい自分の生れた家であつた。彼が留守番に案内されたピアノに向つて彈き始めた時、突然今の主人の令孃の歸宅によつて妨げられてしまつた故鄕のない多岐、一刻も早く東京へ。多岐は夜汽車で病篤くなり、或る町の旅館に移された、たゞひとり高熱の身を橫たへてゐた荒寥たる枯野原多岐の幻覺に「荒城の月」がオーケストラで靜かに聞へてくるのであつた。……

學藝

新版 明烏夢泡雪（上）

—渡滿した「禿みどり」—

松村冬木

浄瑠璃つて凡そ退屈ですわね—信長公の御愛妾小野のお通女史が作つた浄瑠璃姫のお話に、澤住檢校さんが節附けしたものが流行り始めてから五代目お弟子の竹本義太夫師と近松門左衛門先生がタイアップして、新作を次々に放送したものだから猫杓子も、咽喉を掘つたり、涙を流したりして喜んだものです。それから代々のお弟子の中で、ちよいと節廻しの小器用なのや、聲のいいのが、我も〳〵と家元を名乘つて、義太夫節を本家に常磐津節、文彌節、富本節、一中節（アラ越中節ぢやありませんわ—）清元節、富士松節新内節（松魚節）あ、疲れた！松魚節と言ふのはありませんが、兎に角こんな工合に御繁昌しましたのと、お芝居とは切つても切れない緣を結んでゐるのですもの、妾達近代娘には退屈でも、お嫁仕度には一度位この中の何節かを否でも應でも唸らねばなりませんから廢るつて心配はありません。

何故退屈かつて？—そうね一概には申されませんが、聞いても、見ても、一寸ピンと來ませんね……此頃のもんには、二百年も三百年も前の世の中の約束や色戀のお話に、どんない丶聲を張上げて、名文句に節面白く唸つた處が、そのお話の主人公なり女主人公なりの氣持にハツと同情出來なくては、皆が共鳴したり陶醉したりする筈はありませんでせう。

妾が登場して以來長い間、大向の皆樣のお涙を頂戴して來た「雪責の段」でも、もう今の若い人達には受けませんあの儘では—で、今からでも遲くないと思ひますので、あの時の感想を發表することに致しませう。

元來浦里姐さんは氣の弱いお人好しの上に、時次郎兄さんが甘えん坊ののつぺりだから仕末が惡いのです。商賣人（オジヨロウ）の姐さんとお金の自由にならない習慣（シキタリ）の違ふお坊ちやんとでは、ほんとの戀愛が成立つ筈はありません。おとうさんが、見るに見兼ねて「戀の火はパンを燒くを得ず。愛の泉は渴を醫せず」なんて再三忠告したんですけど、姐さんは—死んでしまへばそれまでよ—位にしか思つてゐなかつたらしいのです。

爆擊機

新人演劇 —脚本と演出のこと—

新京演藝大會の催しは、その企ての意圖は充分買はるべきものであつた。

ただこんな事を感じた。それは專ら演劇についてであるのだが、その取りあげた脚本の選定とそして演出の仕方が、少し〃新人〃と呼び、或ひは〃アマチユア〃と形容づけるのにふさはしくない點がありはしなかつたかといふことである。

新劇研究會といひ、ぶだう座といふ名前に私たちが期待したのはもつと清新な、そしてたとへアマチユアにしろ本格的なものをねらつた演劇であつたのである。

ところが私たちの前に展開されたのは、徒らに惡く笑劇的な、或る點惡る達自さへ感ぜられるやうなものであつた。むろん私は現代のいはゆる小レヴユー式演劇を一概に排するものではない。その形式のものにも充分追求されていいものがある。……大いに今後の研究を望んで置かう。

（P・S・M）

文藝と政治家（下）

都甲文之

勿論斯うした政治と文學との深い交渉は、フランスの特色とも言へるものであつて、他の外國では鳥渡見られないであらうことは最近上梓されたドイツの批評家ロベルト・クルチウスの（フランス研究）の中で指摘してゐるのでも知れる、彼はフランスでは文學は單に有閑階級乃至はインテリ層の所有物と言ふのでなく社會全體の必需品となつて居る事、殊に政治家にとつてはその智識の所有はむしろ政治的な經驗と言ふよりも寧ろ更に大切なものとされてゐる事を、實際の見聞に徵して述べてゐる。

そこへ行くと我日本位政治と學問殊に文學とが隔離し政治家に文藝との緣の薄い所も鮮いだらう。

然も我國位古い文明文化とを維持し、詩の國果ては美術の國と言ふが如きレツテルを貰つてゐる所はないのだから話は皮肉である。

此れには種々の理由が存するであらう。その最も強力な理由としては、今日の日本を創り上げた所謂維新の功臣達が其育ちとその時代の環境とからして文藝に親しむ餘地が殆んど與へられなかつた事を第一とし、續いて今日直接我々の支配層を作つてゐる年配にして言へば五十歲台から六十歲台の人々が、極めて功利的な現世的な風潮のなかで育てられて來た事を第二とするやうに考へられやう。

第一に付いては多言を要しまい、少數の者を除いては武士階級の下層を占めてゐた人々の手で出來上つた新日本、それも血腥い空氣に充ち滿ちてゐた當時の新日本の社會狀勢裡に、文學の關心と興味とを求める事が見當違ひである事は明白過ぎやう。

而し第二に於ては事情は此れと異つてゐる。維新後の比較的靜穩な空氣は文藝の木の芽を各人の胸に育ませるのに決して不適當ではなかつた筈であるが、彼等支配層への到達を目ざしてゐた者等にとつては自分の父なり兄なりのゼネレーシヨンが徒手空拳で天下を取つたその成功談以外に耳を傾ける餘裕とてなかつたのである。

即ち彼等のイデオロギーは要するに「立身出世」であつた。又彼等の環境自體は學藝の世界を輕視するやうな。唯物的の思想の世界でもあつた、そうした中に生れ育つた者が恰度今日の我國の支配層を形成してゐるのであるから我等が今日持つ政治家なり大公使なりにエリオを求めクローデルを探しチヤーチルをたづね、ウオーター・ペーヂを得ることの不可能なるは、此れ又當然である。

それならば今後の日本は？筆者はそれをも左程期待出來ない。何故とならば。我國人口の過多は益々相互の生存競爭を激しいものとし、政治家希望の連中をして文藝の世界に居ると言ふやうな「心の餘裕」の出來やう筈はなく、又文藝の造詣の深い連中が政治家となると言ふやうな「畑違ひ」となすのを許すことはないと思はれるからである。（もしたとへ許すとも文學的素養のある者なら堪らなく飛び出るだらう……）

だから若し「教授連の共和國」の著者チボーデーが我日本の今後の政治態度を書くにしても、矢張りその題名として「政治屋連の帝國」と言ふやうなタイトル以外には用ひる名がないではなからうかと考へられる。

官場現形記（207）

李寶嘉作　大內隆雄譯

—第十七回の六—

魏竹岡は一寸躊躇したが、言つた。

「正直な話、下の方の者をゆすぶる事は私はまあやりつけてゐるんだが、この近所の連中は私を見ると、相當恐れるやうだ、もつと田舍の人間もやつつけた事がある、人は私を鄕愚を喰ひ物にすると言つて罵るが、考へて見ればよく當つてゐるやうなものだ。ところで上の方の者をゆすぶるといふ事は私は未だやつた事が無い、一體どんな方法でやつたらい丶のかな？」

單太爺は言ふ。

「ゆすぶるといふ腕さへあればそれでいいのさ。一つゆすぶれば、十萬やそこらは取れないとは限らん。二、三萬かな、もつと少くて八千か一萬まあ事の次第によるがどうせやるなら大きい所をやるさ。小さい所をあれこれとやつてゐては、い丶事はなくて名聲を損するだけだ。そんなやり方は勸めないね。一つ大きい所をやるんだ、さうすりや他人がこちらをゆすりだと言はうと構ひはせん、こちらの腕でやつたのだからな。まあそのため惡評された所がそれだけの値打はあるんだ」

魏はそれを聞いて心中歡喜した。ひげのある口をほころばして笑ひ出した。

「八萬や十萬とは望まんが、八千か一萬ものになればい丶な。それで金貸しでもやつて利息で老後の費用とすりや、それで心滿ち意足りるな。が今の問題はどんな風にして取るかだ、手紙を書くか、それとも面とぶつつかるか？」

單太爺は暫らく考へてゐたが、面とぶつつかつては事を壞す、やつぱり手紙を書く方がいいと考へた。

「やつぱり手紙がい丶ね。手紙には思ひ切りやつつけてやるんだ。何も恐れる事は無いどんな事があつても、內部に私の非常に親しい友人がゐてこちらに聯絡してゐるのだ。こちらに臨機應變にやれる。きつとうまく行く筈だ」

そこへ、ボーイが食事の用意が出來たことを報せて來た。魏は先づ手紙を書き上げてから食べる積りである、机の前に行つて掛け、墨入れを開け便箋を取り出した、左手で便箋を撫で、右手には筆を持つた。筆先を口に含み、眼を閉ぢて考へ込んだ。ところが單太爺は晝過ぎからずつと今まで長い時間話込んでゐたのである。甚だ飢餓を感じてゐた。が一人でさきに食べるわけにも行かない。魏が食事をさきにしてくれればいいとさへ思つた。魏はやつとそれに氣付き、ボーイを呼んで言ひつけた。

「今日はお客がおいでなのだ菜が足らんだらう急いで作り足すやうにしろ」

やがてボーイは卵を炒つたのを持つてやつて來た。匙や箸が揃へられ、二人は席に就いた。見ると卓上の菜は大皿が三つ、碗が一つである。豐豆を炒つたのが一皿、豆腐の味噌つけが一皿、それと先刻持つて來た卵。碗は海老の入つた汁。御飯が盛られ、魏が箸を取つて

「何にもありません」

と謙稱した。單太爺は

「いやどう致しまして、お互ひは知己だ、家常便飯に挨拶は拔きにしませう」

と言つて食べかかつた。魏は豆腐を挾んで單の方にやつて

「これは家內が自分でこしらへたものでして、ひとつやつて下さい」

と言ひ、單は

「大變結構」

と繰り返した。（つゞく）

勇士の御骨を迎へ奉りて

安永廣子

いきの身を矢面にたてし英靈なれば心極まりておろがみまつる

□

七十の英靈鎭ます此御堂香煙に包まれて御あかしゆらぐ

□

星凍る夜空の下に七十の御靈を迎ふおごそかにして

□

戰友に守られ玉ふ七十の御靈の御供吾もかしこく

□

北境の土に流されし御血しほ五族の民の御守りとて

新刊

▲中國滿蒙關係資料文獻誌　これは巖松堂滿洲部の春明書莊發行の古書目錄であるが卷頭に學究的でしかも滋味ある記事を載せ好學者に提供してゐる、瀧川政次郎博士の〃「清國行政法」繙刻に就て〃西藤辰雄氏の「西域北方の問題」細川明氏の「鵄」古木俊夫氏の「蒙古と鮎」の四篇がそれである（新京東一條通十六、巖松堂春明書莊）

▲精軍週刊（十一月九日號）鳴鐘「勗東邊討伐諸將士」張雲飛「軍人應有勇毅誠實勤勞、仁愛」ほか軍事關係のニユース多數（軍政部軍事調查部）

▲聞人（十一月十一日號）山浦貫一「銀座の田舍者」竹內夏積「矢の無い弓」安藤盛「沖繩から」等を載せてゐる、いはゆる自由主義的筆鋒をところどころに閃かしてゐるのがこのリーフレツトの特徵であらう（東京市京橋區銀座西六ノ五瀧山ビル、聞人社、月三回一圓）

▲今日の問題（十一月號）松山二郎「パンフレツト出版から見たヂヤーナリズムの新方向」菅原節雄「いつまで續くか日本の人民戰線運動」等を載せたリーフレツト（東京市芝區田村町四ノ一八、今日の問題社、五錢）

▲海（十一月號）ブラジル經濟使節團を迎へてのグラフ、比律賓情趣、四國路の秋、秋色を尋ねて南紀へ等立派な宣傳雜誌である（大阪北區宗是町一、大阪商船株式會社）

▲養蜂界（十一月號）養蜂に關する研究を滿載した月刊誌（愛知縣中島郡奧町旭町、養蜂界社、十五錢）

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

鐵道總局の參加で内鮮滿臺を繫ぐ
來年一月から一枚の切符で自由に旅行が出來る

【奉天國通】内鮮滿臺を繫ぐ空海陸連絡旅客運輸は昨年十一月成立した鐵道省日本航空の空陸連絡運輸開始をスタートとしさらに本年九月一日からその範圍を擴大して朝鮮鐵道局、臺灣交通局ならびに大阪商船の新加入により内鮮滿臺連絡が確立されるに至つたが、當時滿鐵では鐵道機構一元化を目前に控へてゐたので參加不能となり、完全な日滿鮮臺の空陸連絡は遂げられず今日に至つてゐるので總局ではこれを遺憾とし社、國線の一元化事務整理の一段落をまち連絡協定に加盟すべく關係當局と折衝を開始する豫定で諸準備を進めてをり、遲くも來年一月頃までには實現するものとみられる、しかして鐵道總局加盟により名實ともに日鮮滿台連絡が實現するわけで、わづか一枚の連絡切符により空陸に跨る旅行コースを自由に選擇することが出來、また連絡驛において料金の拂戻しまたは追徵が出來ることゝなつた

防護團會議

新京聯合防護團會議は十九日午後二時三十分から滿鐵事務局三階會議室で開催、聯合防護團本部高木主事、稻葉庶務部長特別市附屬地兩防護團代表、兩防護團各分會代表其他出席、昭和十二年新京に於て擧行される全滿聯合防空演習に關する豫算編成、前聯合防護團長に記念品贈呈の件、約二十日間の豫定をもつて東京大阪地方の防空施設視察に關係者派遣の件、過般新京を中心に實施した防空演習の報告並に將來の希望等につき協議し午後五時過ぎ散會した

教祖の病床顧りみず同輩娘と不義
御木徳一の醜行、謝罪書現はる

ひとのみち初代教祖御木徳一の猥セツ行爲は取調につれいやしくも宗教家を以て任ずる者として聽くに堪えない不倫の言行が暴露されてゐるが、最近にいたり御木徳一が二十五、六歳頃すでに淫奔にて當時世話になつてゐる徳光教會に門女子の事で謝罪書を一札入れてゐることが判明した、その頃徳光教會の教祖が病氣愈よ重く臨終危ぶまれて多數の教師連中は齊戒沐浴して一心に教祖の平癒祈願を祈つてゐる時徳一は教祖の看病に來てゐた教師生駒徳文氏の娘イト子(當時二四)をそそのかし交情をせまり遂に目的を遂げ其の後は教祖の病床をも顧みず不義の快樂に身をやつしてゐたが教祖の沒後この事が教師一同に知れその不謹愼極まる行ひに徳一を斷乎たる處置に出でんとの空氣濃厚となつたので徳一は教務長山之内良千氏にイト子と結婚したいから話を取りもつて貰ひ度いがイト子が拒絶するかも知れず話をまとめるに困難であつたら神宣だと云つて是非頼むと申出たのに對し教師等一同は其の厚顏無恥に驚きもし呆れもしたが教師會議を開き教會員の風上にも置けぬ者とし嚴重懲戒處分に附さんとしたが小田切と云ふ教師がそれでは徳一が今後食つて行けないから罪一等を減じて諭示退職とし改心したらまた入教さしてやつてくれとの頼みでやつと謝罪書で許されたものである

謝罪書全文は

私儀今度婦女子に對し不謹愼の行をなし且つこれに關連した教宣を願出で候事教師としてあるまじき行爲たるを自覺しここに悔悟謝罪書差出候也

大正八年二月五日 教師 御木徳一

神道徳光教會長殿

郷軍聯合分會の勅語奉戴式

帝國在郷軍人會新京聯合分會ではさる三日在郷軍人に下賜されたる勅語の奉戴式を來る二十三日午後一時から新京神社境内で擧行する、會員は多數參加されたい、なほ服裝は軍服、團服、洋服、和服(不敬に當らぬ服裝)で勳章記章佩用のこと

古物商に忍込む

十九日午前十時新京城内平康里東寧二條胡同金興權方に出入する擧動不審の男を首都警察廳門脇巡官が連行取調べると原籍熱河省住所不定無職蕭起三(三十)で阿片注射料の借金逃れに十七日午後十一時東三馬路古物商汝發方院に忍び込み用客ボックス二脚(價格四十圓)を窃取借金のかたに賣り飛ばしたことを自白した

小八家子、萬寶山へバス運轉開始
けふから一日二往復

新京交通會社では現在の伊通雙陽線の外小八家子、萬寶山伏隆泉の新三線の認可出願中のところこの程許可を得小八家子、萬寶山線は二十日より運行を開始することになり、伏隆泉線は十二月中旬頃より開通の豫定である、二十日より運行する小八家子、萬寶山線の發車時刻は左記の通りである

▲小八家子線
新京發 午前十時 正午
小八家子發 正午 午後二時

▲萬寶山線
新京發 午前十時 正午
萬寶山發 正午 午後二時

煤煙防止展
廿三、四兩日公會堂開催

國都の煤煙防止委員會はいよいよ本格的の活動に入つたが、先づ第一に國都市民に何故に煤煙を防止せねばならぬかを認識させ且つ防止方法を簡單に呑み込ませるため二十三日、二十四日兩日記念公會堂で「煤煙防止展覽會」を催すことゝなつた、出陳は過般來安東、奉天で連日盛況を見せた日滿商事會社宣傳部秘藏の各種ポスター約三百點、滿洲醫大門外不出の貴重なる資料たる炭肺の實物を堀氏の斡旋にて特に借り入れ陳列する他、各種煖房具の實物陳列、温水煖房の焚き方の實地指導をなす等滿洲では曾て見ない大規模の展覽會である(寫眞は煤煙防止のポスター)

焚キ方ト煤煙濃度ト關係

門松飾りの値段は去年とおなじ
請負の聖德會の談

霜月、師走といよいよ今年のおさらばも近くなつて來た、氣の早い印刷屋さんは年賀はがきや名刺の注文取りを始めたと思ふともつと正月の徽象、日本人の新年にはたとへ形ばかりでもいゝ松竹たてゝと云ふ門松や七五三飾りの注文取りが廻り始めた、新京では昔から社團法人、新京聖德會が一手に引受ける慣習が殘つて居り、同會では數日前から會員が注文帳を持つて各方面を廻つてゐる、何でも今年は去年に較べて材料高であるが値段は前年通りで奉仕すると云つてゐる、特等が二十五圓、一等十五圓、二等十圓、三等六圓、特打つけ四圓、打つけ一圓で、例年お得意で御用の向は同會の事務所電話三の三八一〇へ申込めばいゝさうである、尚昔と違つて現在の新京では聖德會の他にボツボツ個人で注文取りをやる人が殖へたやうだ

商店街大賣出も
福引附で一日より蓋開け

募る嚴寒、逼る歳末、師走に入るや直ちに商店街は華々しい大賣出しに、此處を先途と鎬を削るわけだが、事實上附屬地有力商店の殆ど全部を網羅し、恒例になつてゐる輸入組合主催の聯合大賣出しは、滿洲事變後滿五年、その間における國都の異常な躍進發展振りを祝する意味にて今年は特に國都發展祝賀歳末聯合大賣出しと稱し、監督官廳の許可あり次第一等金一千圓の福引券附にて大々的に開催されることゝなつてゐる、賣出し開始は先陣を承はつて十二月一日から呉服洋服商が蓋を開け、續いて十一日から和洋雜貨、菓子、貴金屬商その他が一齊に始まり、食料雜貨は最後に二十一日からと言ふ順予で三十日まで歳末氣分を沸き立たせる手筈になつてゐる、なほ景品は五圓毎に抽籤券一枚、一圓毎に同補助券一枚の割合になつてをり、昭和十二年一月十日輸入組合事務所で警察官立合の上嚴正なる抽籤を行ひ當籤者の決定を行ふが何れも組合商品券で一等千圓一本、二等五百圓二本、三等二百圓五本、四等百圓十本、五等五十圓二十本、六等二十圓百本、七等十圓二百三本、八等五圓四百九十本、九等二圓九百七十五本、十等一圓三千八百九本、十一等五十錢七千九百九十九本、總額二萬一千二百三十八圓五十錢、一萬三千六百十四本の當り籤がある事になつてゐる

不正行商人横行
留守居の家庭に入つて强請る
怪しいと思つたら直ぐ訴へ出よ

本籍富山縣射水郡海老江村七軒一五二五現在新京東五條通り滿日館止宿賣藥行商矢後久直(二十一)は大連市より最近當市に來て未だ許可ももらはずに行商を始め主人の留守宅の女や子供を捉へ强制的に賣藥をしたり前に仲間の者が置いて行つた袋をなくしたからといつてその責任を詰り代金を强要したりしてゐたが十八日曙町の警察官舍の某氏宅へ行き主人の留守につけ込み無理を云つて歸らないので遂に新京署に檢束されたが近頃かゝる不正な行商人で押賣强請がましい事をする者がめつきり殖えたので警察署でも嚴重取締ることになつたが何分店を構へず何處ともなく歩くので一人係官がついても行けないから各家庭でも注意してこうした者が來た場合にはすぐに近くの派出所なり本署なりに報告して官民協力して不良行商人を取締り留守を安心して女にでも子供にでもまかせ得るやうにし度いと當局は希望してゐる

お小遣ひを節約して皇軍慰問金へ
錦丘高女生徒の美擧

十九日午後日滿軍人會館内の國防婦人會新京支部を訪れた二人の女學生が顔あからめながら僅かなお金ですが寒い所で戰つてゐる兵隊さん達に何かお慰めになるものを買つて差上げて下さいと金十七圓七十一錢を差出した、係書記が寄附の動機に就て尋ねると

去る七日から十三日迄行はれた國民精神作興週間に際し私達の學校では全生徒が一致して馬車賃やお小遣を節約する約束を致しましたそれを實行した結果このお金を得ましたので、皆で相談の上國防婦人會へ持つて參つたのです

と答へた、この女學生達は錦丘女學校の級長および副級長で、同婦人會では全校一致の美擧にいたく感激してゐる

八島校母の會

八島小學校の母の會は十九日午前九時から開かれた、當日は五六年生の母の會で出席者百三十餘名は九時から一時間は映畫觀覽、十時、十一時まで授業を參觀しあとは受持訓導と懇談を交へ正午解散した、なほ二十日は前日に引き續き四年以下の母の會が催される

北滿視察團迎へ中央會座談會

滿洲特産中央會主催の北滿視察團一行二十五名は二十日午後七時白城子から新京着の豫定であるが、中央會では二十一日午後一時から軍人會館にて一行を中心とする座談會を開催する

下村教官榮轉

新京青年學校教官下村少佐は今回赤峰警務段長に榮轉數日中に赴任の豫定である

低能の女
捨てられたか

十八日午前九時頃新京驛構内を徘徊してゐる女があるので驛内派出所で取調べたところ多少低能で北山花(三一)と云ひ只タツミと云ふ男に連れられ北滿三姓から大阪に行く筈で來たとのみ云ふだけで乘車券もなく身元も判明しないが或は低能者で使ひものにならぬ爲め新京に捨てに來られたものではないかと思はれる點もあり本署に連行保護を加へて種々取調中である

よく問題を惹起した日本ばし物語
匪賊、共同便所に立籠り市街戰

三條橋物語のついでに日本橋も書いて置かう、頭道溝の埋立はこの橋をどうするのか毀してしまうのかそれとも埋立はあの橋までゝあれから先の永長路と東五條通りを繋ぐ長農橋の邊にまで及ぶのかちよつと聞き洩したが若し埋立が東へ伸びるとすると日本橋も取毀しの運命に

逢着 するだらう日本橋通りは元東斜街とよばれてゐた橋の上手も下手も芥捨場で草茫々この寫眞左手新京會館の廣告塔のあるあたりに共同便所があつた大正六年の秋だつたと記憶するが白晝附屬地を襲つた數名の匪賊急を聞いて駈けつけた長春署員と市街戰を演じ討ち洩らされた二名がこの便所内に逃げ込み頑強に抵抗して寄せつけない、便所の扉の節穴から拳銃の狙ひ撃ちに討手も傷つけられる、だんだん日沒近くなり捨てゝ置く譯にもゆかず、確か長春守備隊からも

應援 が來たが便所へ向けての一齊射撃も徒らに赤煉瓦の粉を飛ばすばかりやむなり策戰をかへて空包の威嚇射撃を浴せ賊がその方に氣を取られてゐる隙に決死隊が便所の屋根に攀ぢ登り瓦を剝いで上から拜み撃ち漸く賊を射止めたことがある今の給水所はその頃あつたが木造だつた勿論新京百貨店の在るあたりと凹凸した濕地帶草はよく茂り丈余にものびてゐた、日本橋は城内との嚴然たる分界だ日支交渉、寛城子事變當時は頭道溝をさし挾んで對峙といふことになつた近くは滿洲事變の時にも日本側防備の最前線は頭道溝、たゞ商埠地に喰ひ込んでゐた領事館は相當の警備を施したが萬一の場合は引拂ふ用意が整へられたくらひだつた今でも日本橋際に日滿双方の警察官派出所があるが昔も

日支 の警官派出所があつた、ある時今東邊道の剿匪に勇名を馳せてゐる本溪湖署長の渡邊正雄警視、たしかまだ警部補で長春署の司法係勤務の頃だつたと思ふ、渡邊氏自轉車で管内巡視に日本橋派出所にやつて來ると中は留守、日本橋々上は黒山のやうな人だかり搔き分けて覗くと我二警官が數名の支那兵を相手に大格鬪、雲突くやうな大きな支那兵のために我警官苦戰のところだ、物をも云はず飛び込んで片つ端から投げ飛ばす阿修羅王のやうな働き、支那兵は帽子佩劍帶皮などを殘して逃げ去つたその時渡邊君支那側の派出所の前にわざと大きな

奴を 擔いでは投げる最初は我關せずとニヤニヤ笑つて見てゐた巡警蒼くなつて慄へあがつた原因は田舍から出て來た支那兵日本橋の珍らしさに欄干に腰かけたり人道に踞み込んだり交通妨害になるので我警官が注意すると、柄が小さい爲なめてかゝつて弄りものにしてゐるところだつた、支那側の陳謝々々で解決した、何しろ日本橋を超へては一歩も支那兵の武裝侵入も通過を許さぬ協定がある一方横暴を極めた舊軍閥の配下があの橋を中心に屢々問題を惹き起したものだ

火藥、導火線窃盗犯人逮捕さる

本紙十月三十一日附朝刊既報大屯阜豐山權太組火藥倉庫に保管されてあつた火藥十二貫導火線五百尺の盗難事件は時節柄非常に重大視され、世人は極度の不安にかられ、一方日滿軍警は協力して犯人を嚴重搜査中のところ所轄范家屯警察署司法係では署長指揮のもとに不眠不休の活動を續けてゐたが本月十五日早朝同署平田刑事が雙陽縣楊家溝にある福昌公司採石場苦力宿舍に出入する苦力頭某の下に働く梁燕聚(二八)、延才(四〇)及び胡世賢(二二)の三名を一擧に取押へ嚴重取調べの結果十九日午前にいたり遂に前犯行を自白し、贓品火藥及び導火線全部福昌公司採石場東方山中の地下に隱匿してゐたのを發見し、こゝに事件發生後三周年に凱歌は范家屯署に擧つた

連副總監に連侍從武官少々粗骨なのが新聞などに「連侍從武官赴哈」等とあるのを「近く御出張だそうで……」と早合點の挨拶をされて驚かされるのが連副總監だ▼「無理ないよ俺人がこれなんだからね、俺を一番知つてゐて呉れる國の親父までが、「お前も皇帝のお側近く奉仕する身よくよく心せよ」とは先達の手紙、これにはわしも少々驚き入つたね早速身のあかりを立てにやならん」と記者の肩をポンと叩いて哄笑した

妖魔往來

（上映禁止）桃川燕二演
内山鉦太郎畫

一〇六

お節の嫉妬の渦は瞬天を突破つて火でも吹出しさう、江戸の方角を睨んで形相凄しく齒切をかんでをります、久太郎はえたりとグッと引よせた

『アッ何をするんだえ』

パット其手を振拂つたが、かうなつてはお節はもう打たれた鳥でございます。

『アハヽヽ、ア、親切男の俺の心を無にするかね』

『サア御新造一杯呑んで氣を落つけなさい』

グイと猪口の酒をのんで

『ア、飲むとも〳〵幾らでも飲むよ、モシ飛脚屋さん、お金で濟むことなら幾らでもだしますよ、お前八郎樣やお志津のゐる江戸へ連れていつてお呉れよ』

『アハヽヽヽハヽ、女と云ふものは何處まで手前勝手なものとも知れねえ、人の頼むことには空耳を走らし、自分の方の用には何處までもコキ使はうと云ふ、それぢやア幾らお心好しの鹽島屋久太郎でも早速オイソレと返事はできやせんや』

『お前には頼まれたことはないぢやアないか』

『とぼけちやいけない、マア服う一つ飲んで下せえ』

『ア、酒をのめと、頼むのなら潰れるまで相手になるよ、全體八郎樣やお志津は江戸の何と云ふ所にゐるね』

『いけねえ、いけねえ、もう八郎ともお志津ともそんな名を云ッこなしだ、マア〳〵酒の方がよい江戸くんだりから頼まれもせぬのに馬鹿を見にきた手前は、よッ程の唐變木だ』

『どうもお前は意地悪だね、後生だからきかしてお呉れ筈なよ、頼むよ……其代りお前の望み通り路用のお金でもお酒でもするからね』

『イヤ金はいらないが、最前の望みを叶へて呉れたなら此方でも命を打込んで居る、返事次第で鬼ともなろし佛ともなる久太郎、御新造さん其望みを叶へる氣はないか』

と久太郎再びお節の手を握んだ此時お節は漸く氣がついた、稍我に返つたものと見えて、然う云へば先刻この久太郎が我手を握つて傍へ引よせた、ハヽア此飄輕野郎私に思ひを掛けたのだな、最前の望みとは是だな、斯う氣が付いたがお節は八郎の爲既に日光の京助にも肌を許して居る、淫婦のことだから貞操なぞは屁とも思つてをりませぬ、目的の爲には手段を選ばぬとは是でございませう、お節は色仕掛けでなくては八郎のありかが分らぬものと思ひ、遂に此晩取るにもたらぬ鹽島屋久太郎の慾に肌身を穢されました、實に不思議千萬なのはお節の心でございます、鹽島屋久太郎は愈本望を遂げました、本望を遂して見ると此お節をムザ〳〵八郎の手に渡す心は起りませぬ、そこは京助と同じ事だが、久太郎の方は永らく金飛脚をしてゐるくらゐの人間京助よりは正直でございます。

『さて御新造、かうなつて見れば命掛けで貴女の御用はたしますが、江戸へでると金が擲くほどいります、田舎廻りで大平樂を云つて歩いて居る樣な譯になりませんて、先立つものをおもちにならなくては江戸へ出たところで仕方がありません、成程手前はある家へ虚無僧を案内したには違ひないのですが、そこには鰻留の大藏さんやお志津さんがゐます、お志津さんを連れだしたかださぬかは分りませんが、虚無僧が其家に今日まで俺々居る筈のものではない、何れ居る場所をたづねる、さうとなると路以て金がいる』